

資料編

5.1 公共交通現況調査

1 既存計画・調査における公共交通の位置付け

(1) 既存計画・調査における公共交通の位置付け

ア 既存計画・調査の一覧

■ 公共交通に関連して、平成12年度以降、12の計画・調査が取りまとめられている。

調査・計画名	策定年月	策定機関
(ア) 函館市公共交通施策基本方針	平成12年 3月	函館市
(イ) 函館圏総合都市交通体系調査	平成14年 3月	北海道
(ウ) 新函館市総合計画	平成19年10月	函館市
(エ) 北海道新幹線開業はこだて活性化アクションプラン	平成20年11月	北海道新幹線開業 はこだて活性化協議会
(オ) 函館市交通事業経営計画(第二次)	平成22年 3月	函館市交通局
(カ) 函館市環境基本計画	平成22年 3月	函館市
(キ) 函館交通圏タクシー特定地域協議会地域計画	平成22年 3月	函館交通圏タクシー 特定地域協議会
(ク) 東部4地域の公共交通等の方向性	平成22年 9月	函館市
(ケ) 公共交通利用等状況調査	平成23年 3月	函館市
(コ) 函館圏都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針	平成23年 3月	北海道
(サ) 函館市都市計画マスタープラン	平成23年12月	函館市
(シ) 函館市中心市街地活性化基本計画	平成25年 3月	函館市

イ 函館市および周辺地域における既存計画・調査の概要

■ 各計画・調査では、公共交通の利用者数の減少等の課題を整理し、課題解消施策を検討提案している。

計画・調査名	(ア)函館市公共交通施策基本方針	(イ)函館圏総合都市交通体系調査	(ウ)新函館市総合計画	(エ)北海道新幹線開業はこだて活性化アクションプラン	(オ)函館市交通事業経営計画(第二次)	(カ)函館市環境基本計画
策定・調査年月日	平成12年3月	平成14年3月	平成19年10月	平成20年11月	平成22年3月	平成22年3月
策定機関	函館市	北海道	函館市	北海道新幹線開業はこだて活性化協議会	函館市交通局	函館市
計画期間	—	—	平成19年度から平成28年度までの10カ年	—	平成22年度から平成31年度までの10カ年	平成22年度から平成31年度までの10カ年
対象地域	函館市	函館都市圏(函館市(東部地区除く)・七飯町・北斗市)	函館市	函館圏	函館市	函館市
対象交通機関	バス・市電	バス・市電・自動車交通	バス・市電	バス・市電・タクシー・自動車交通・鉄道	バス・市電	バス・市電・自動車交通
目的	近年、モータリゼーションの進展や市街地の拡大、人口移動、扇形市街地などの要因によりバス・電車事業が衰退している。このような公共交通に対する厳しい現状や、それらに対するこれまでの取り組みや事業経過を取り巻く今日の厳しい状況、さらには、交通事業新計画検討会議や公共交通検討協議会における意見を踏まえ、電車・バス事業の経営主体の再編について、公共交通施策の基本方針を定めるものである。	市街地の拡大に伴う郊外部への人口移動、商業業務施設をはじめとする都市機能の拡散等により、交通の発生源・集中先も変化している状況にある。さらに都市圏の広域幹線道路の整備促進、北海道新幹線、函館空港の拡張整備等交通の取り巻く情勢も変化している。都市交通需要を勘案しつつ、このような状況・情勢に対応する総合交通計画策定を行うものである。	第4節 公共交通の充実 公共交通の利便性向上を図るとともに、新交通システムなど多様なニーズに対応した新たなシステムの構築に努めるほか、公共交通の利用を促進する。	新幹線開業効果を最大限に生かし、観光をはじめとする地域産業などの進行を図ることを最大の目的として、「観光振興」「産業振興」「交通アクセス」の3分野についての施策を官民一体となって協議検討・策定したものの。	「函館市交通事業経営計画(第1次)」・バス事業の3カ年(H13～H15)での廃止および函館バスへの移管 ・累積資金不足額に対する一般会計補助金による年次計画に基づく処理 ・市電事業の支出健全化実施による維持・経営状況を鑑みた一般会計からの支援に引き続いて、軌道事業の今後の経営方針を定めるもの。	「函館市環境基本計画(第1次)」策定から10年が経過し、地球温暖化による気候変動などの問題や市域の状況も変化してきていることから、これらに適切に対応するため、このたび環境基本計画を改定した。
概要(項目)	1 基本方針 (1)経過と現状 (2)各種提言等への取り組み経過 (3)今後の在り方について 2 交通施策の基本方針 (1)バス事業について (2)電車事業について	1 調査内容 (1)平成11年度【実態調査】 (2)平成12年度【現況分析・予測】 (3)平成13年度【総合交通計画策定】 2 基本方針 (1)自動車交通の役割 (2)公共交通の役割 (3)自動車交通と公共交通の役割分担	1 公共交通の利便性向上 (1)バス路線網の維持・向上 (2)迅速性・定時制の確保 (3)利用環境の整備 2 多様なニーズに対応した新たなシステムの構築 (1)少人数のニーズに対応した公共交通の充実 (2)新交通システムの導入検討 3 公共交通の利用促進	1 産業振興分野 (1)域内交通・交流インフラの整備促進 2 交通アクセス分野 (1)新函館駅連絡バス運行の充実 (2)タクシーサービスの充実 (3)レンタカー機能の充実 (4)新函館駅・現函館駅間の鉄道アクセスの充実 (5)新函館駅との接続道路、接続環境の整備 (6)新幹線運行の充実	1 事業経営の基本的な考え方 2 計画の実現に向けた対策 (1)収入に係る対策 (2)支出に係る対策 (3)一般会計からの補助 (4)累積資金不足額の処理 (5)走行環境の改善 3 将来に向けての事業展開	1 環境の現状と課題(公共交通) 2 市が目指す環境像(自動車・交通対策・公共交通) (1)市の役割 (2)市民・市民団体の役割 (3)事業者の役割
計画・調査名	(キ)函館交通圏タクシー特定地域協議会地域計画	(ク)東部4地域の公共交通等の方向性	(ケ)公共交通利用等状況調査	(コ)函館圏都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針	(カ)函館市都市計画マスタープラン	(シ)函館市中心市街地活性化基本計画
策定・調査年月日	平成22年3月	平成22年9月	平成23年3月	平成23年3月	平成23年12月	平成25年3月
策定機関	函館交通圏タクシー特定地域協議会	函館市	函館市	北海道	函館市	函館市
計画期間	—	—	—	—	平成23年度から平成42年度までの20カ年	平成25年度から平成29年度までの5カ年
対象地域	函館交通圏(函館市(東部地区除く)・七飯町・北斗市)	戸井地域、恵山地域、榎法華地域、南茅部地域	函館市	函館圏都市計画区域(函館市、七飯町、北斗市)	函館市	函館市中心市街地
対象交通機関	タクシー	バス	バス・市電	バス・市電・自動車交通	バス・市電	バス・市電
目的	供給過剰等によりタクシーが地域公共交通機関としての機能を十分に発揮できていない地域(特定地域)として、函館交通圏が指定されたことを受け、特定地域におけるタクシー事業の適正化及び活性化を推進するため、平成22年3月に策定されたもの。	合併後5年(策定当時)を経過し、 ・交通料金助成制度 ・病院送迎バス ・一部バス路線の空白地域 ・バス利用料金 ・高齢化が進む中で交通弱者への対応等の課題解決に向けて、東部4地域での公共交通の方向性について取りまとめたもの。	公共交通の利便性の確保や利用促進のため、現状の利用状況等について把握し、持続可能な公共交通機関のあり方を検討するため、公共交通等利用状況調査を実施する。	本区域の地域特性を生かし、また北海道新幹線の開業効果を最大限に活用しながら、豊かで活力があり、安全で安心した生活が営まれる都市を目指すとともに、地球環境時代に対応した低炭素型都市構造への転換を見据えながら、持続可能でコンパクトなまちづくりを推進する。	人口減少や少子高齢化の進行、中心市街地の空洞化、地球温暖化など様々なまちづくりを巡る課題を踏まえ、都市計画法に基づく土地利用の規制・誘導および都市施設の整備や市街地開発事業などを実施する上での基本的な方針として、また、都市計画区域外を含めた総合的かつ具体的なまちづくりの指針として策定するもの。	観光客を中心市街地に呼び込み、地区内を回遊させるための新たな施設整備やサービスの充実及び中心市街地の広域交通結節点としての機能と公共交通機関の充実。中心市街地の常住者利用施設の充実を図り、街中居住の重点的な推進、賑わいの創出に努める。
概要(項目)	1 タクシー事業の現況 2 函館交通圏におけるタクシー業界の取り組み (1)利用者利便の向上への取り組み (2)地域の安全・安心への取り組み (3)交通安全のための取り組み (4)その他 3 地域計画の目標 4 目標達成に向けた取り組み (1)タクシー乗り場の整備拡充 (2)タクシープールの整備 (3)交通渋滞対策等関係施設への積極的協力 (4)優良タクシー乗り場の設置の検討	1 現状 (1)路線バス (2)地域福祉バス (3)病院送迎バス 2 基本的考え方 (1)路線バスの再構築 (2)地域内交通の整備促進 (3)各種バス(地域福祉バス、スクールバス、病院送迎バス)の再編検討。 (4)交通料金助成の在り方検討 (5)利用実態、ニーズの調査	1 調査内容 (1)利用者数調査 (2)利用者アンケート (3)公共交通関連施設調査 2 結果 3 施策検討のための基本的な考え方	1 交通体制整備の基本方針 (1)高速交通ネットワークの形成、アクセス道路や交通結節点の整備。 (2)都市の骨格となる都市内道路網の形成、事業未着手箇所点検・検証し見直し。 (3)歩行者や自転車交通のネットワークの形成やバリアフリー化。 (4)利便性の高い交通環境の形成を図る。 (5)都市内交通の円滑化を図るとともに、自家用車に過度に依存しない都市交通の実現	1 まちづくりの目標 (1)歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり (2)快適・安全なまちづくり 2 まちづくりの方針	1「陸・空の交通拠点と観光拠点の回遊による賑わいの創出」 (1)観光サービスの充実 (2)公共交通の機能強化 (3)商業環境の充実 (4)街中居住の推進・新たな集客拠点整備

ウ 既存計画・調査において実施目標とされている公共交通に関する施策

■ 計画・調査では、大きく6つの内容・項目についての施策が示され、8つの計画・調査において、バス路線の再編などに関する施策提案がなされている。

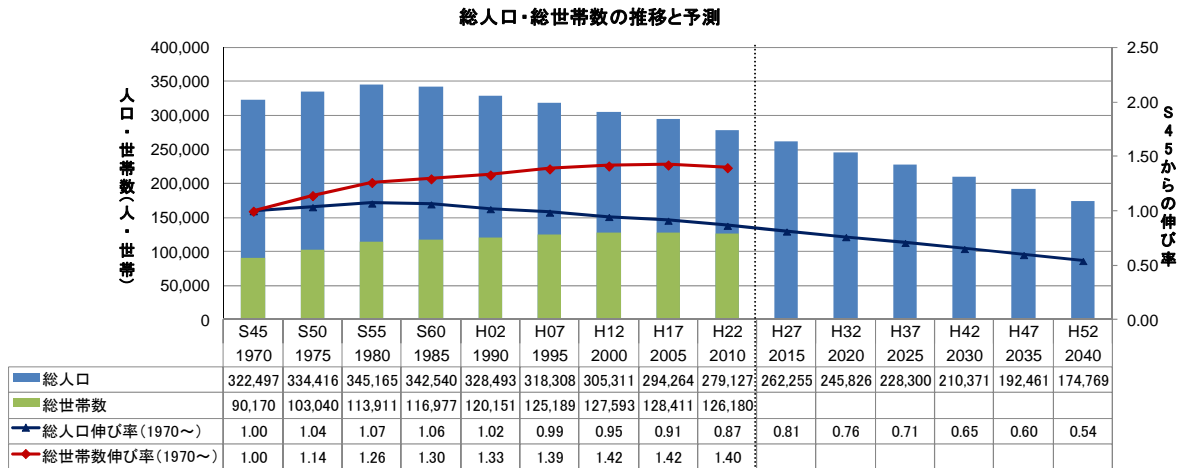
内容・項目		計画・調査名											
		(ア) 函館市公共交通施策基本方針	(イ) 函館圏総合都市交通体系調査	(ウ) 新函館市総合計画	(エ) 北海道新幹線開業はこたて活性化アクションプラン	(オ) 函館市交通事業経営計画（第二次）	(カ) 函館市環境基本計画	(キ) 函館交通圏タクシー特定地域協議会地域計画	(ク) 東部4地域の公共交通等の方向性	(ケ) 公共交通利用等状況調査	(コ) 函館圏都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針	(サ) 函館市都市計画マスタープラン	(シ) 函館市中心市街地活性化基本計画
料金	バス事業の経営主体一元化	○											
	交通料金助成の在り方検討					○		○					
	ICカード・均一料金・運行間隔等					○						○	
路線	各種バス（地域福祉バス・スクールバス・病院送迎バス）の再編検討							○					
	拠点間を結ぶ基幹交通の充実				○				○	○			
	福祉タクシー等地域社会へ貢献する取り組み							○					
	地域実態にあった路線の再編・拡充・循環型バスの拡充	○		○	○	○			○	○	○	○	
	路線延伸（電車）					○						○	
	新函館駅連絡バス運行の充実				○								
拠点	新函館駅・現函館駅間の鉄道アクセスの充実				○								
	エリアごとの地域拠点形成								○				
	交通ターミナル整備								○	○	○		
	タクシーベイの設置などタクシー利便性の向上			○	○			○					
	パークアンドライド施設整備											○	
走行空間	レンタカー機能の充実				○								
	迅速性・定時制の確保・走行環境改善（バス・電車優先の交通規制の促進）	○		○		○							
	軌道内緑化・緑地整備（環境対策）							○					
	歩道空間の確保										○	○	○
	都市計画道路の見直し等道路整備										○	○	
情報提供	新函館駅との接続道路・接続環境の整備				○								
	低床バス・電車やバス停の上屋設置などUD化等利用者の視点からの魅力あるサービス提供			○		○					○	○	
まちづくり	路線や乗り場・運賃についてわかりやすい情報提供			○									○
	環境負荷の小さい街づくりの実現		○										
	路面電車沿線の公共施設の維持・充実											○	
	自動車交通から公共交通への誘導		○										

2 社会経済状況

(1) 人口および世帯

ア 人口・世帯数の推移と予測

- 人口は、昭和 55 年（1980）の 345,165 人をピークに減少傾向にある。
- 世帯数は、核家族化の進展により増加し続けていたが、平成 17 年（2005）の 128,411 世帯をピークに減少に転じている。

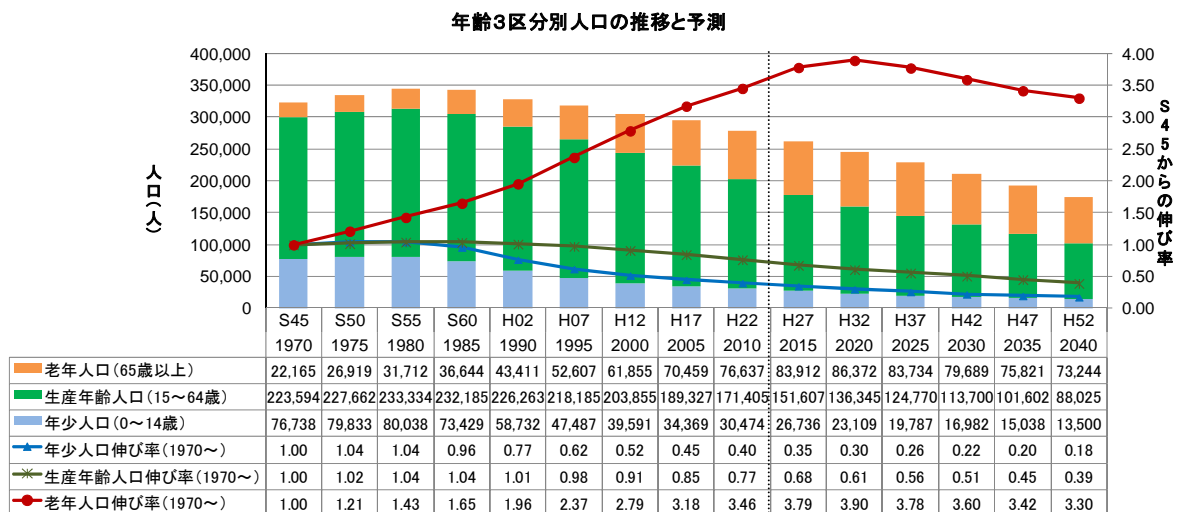


※旧 4 町村含む

資料：国勢調査，国立社会保障・人口問題研究所推計

イ 年齢3区分別人口の推移と予測

- 3区分別人口は、年少人口が昭和 60 年，生産年齢人口が平成 2 年以降，人口の伸びと同じように減少傾向となっているが，一方，老年人口は増加しており，少子高齢化が進んでいる。
- 将来予測では，老年人口も平成 32 年以降，減少することが予測されている。

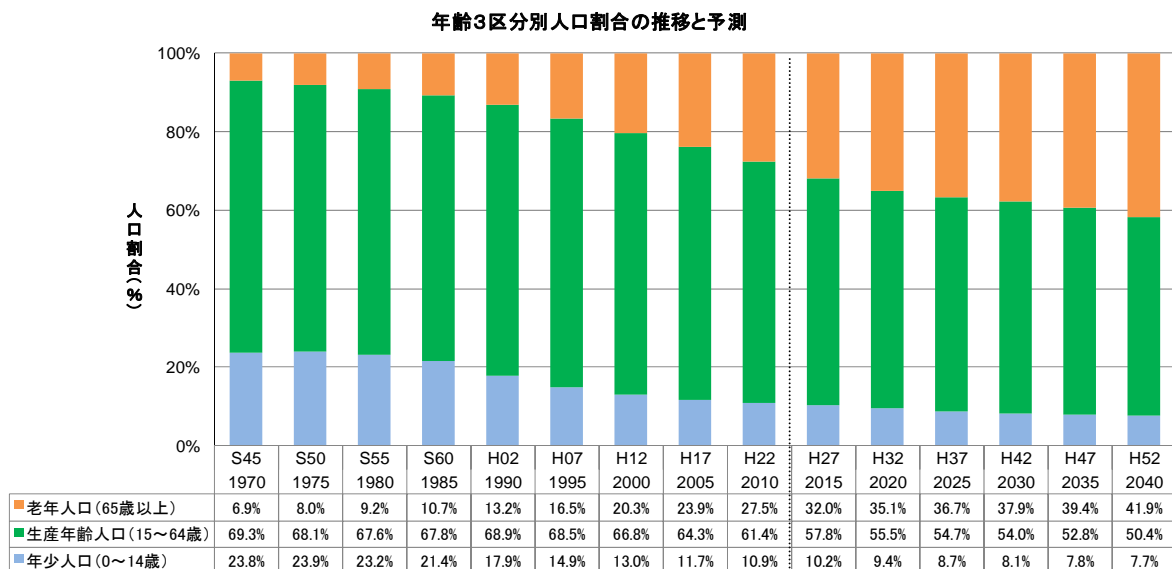


※旧 4 町村含む

資料：国勢調査，国立社会保障・人口問題研究所推計

ウ 年齢3区分別人口割合の推移と予測

- 平成7年に、老年人口の割合が年少人口の割合を上回り、生産年齢人口の割合についても減少に転じている。
- 平成7年以降は、老年人口の割合のみが増加しており、平成32年には3人に1人以上が高齢者となることが予測されている。

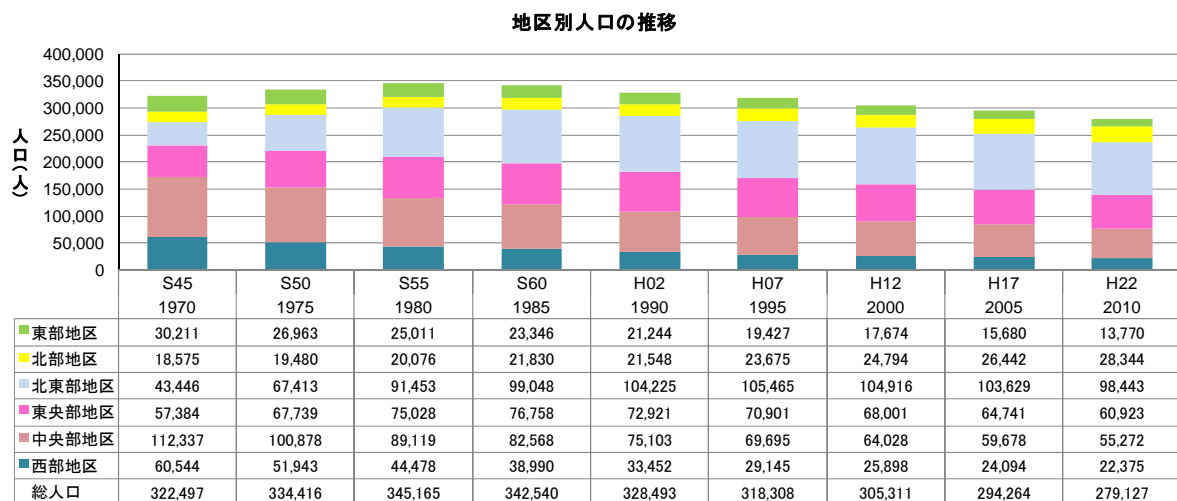


※旧4町村含む

資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所推計

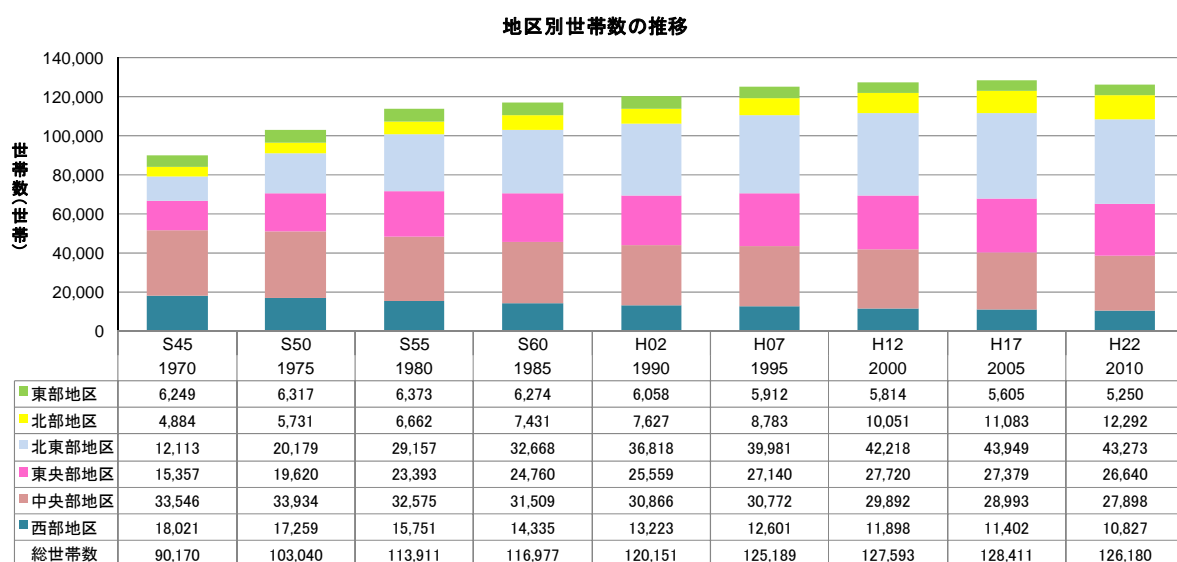
エ 地区別人口・世帯数の推移

- 地区別人口の推移では、昭和 45 年以降、東部・中央・西部地区で大きく減少している一方、北部・北東部地区では大きく増加している。
- 平成 12 年以降については、北部地区のみ増加している。



資料：国勢調査

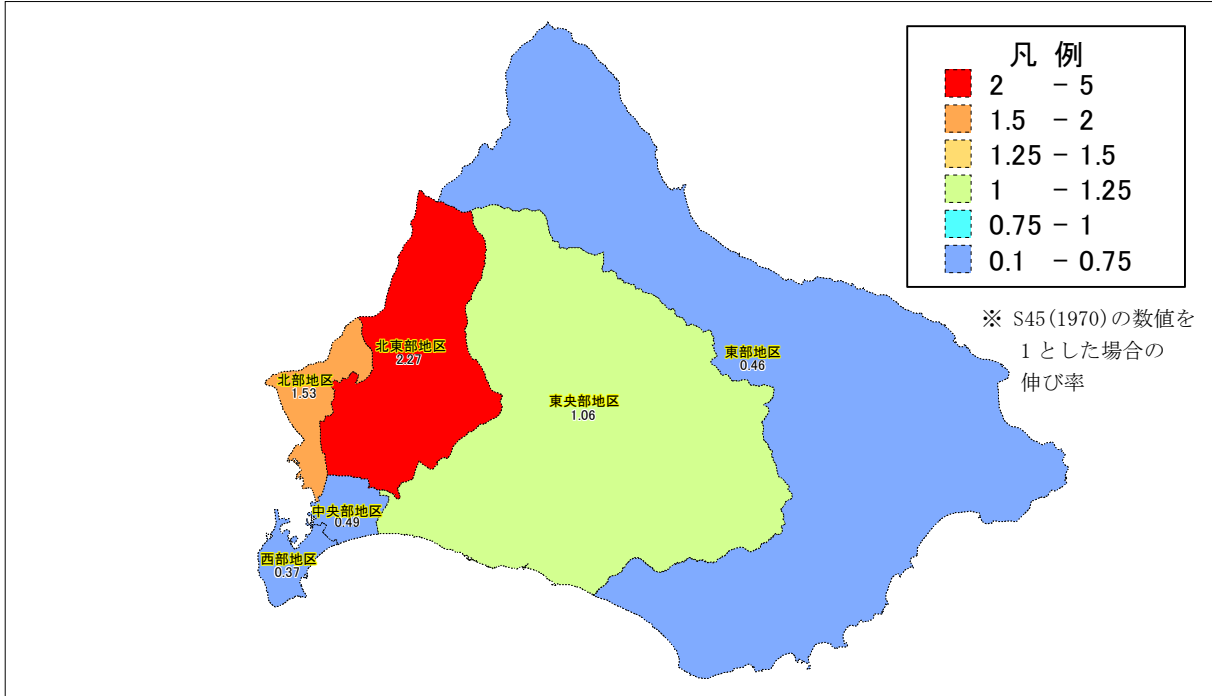
- 世帯数は人口と同様の傾向となっているものの、人口ほどの減少とはなっていない。
- 平成 12 年以降は、北部・北東部地区のみ増加となっている。



資料：国勢調査

(7) 人口伸び率比較【S45(1970) -H22(2010)】

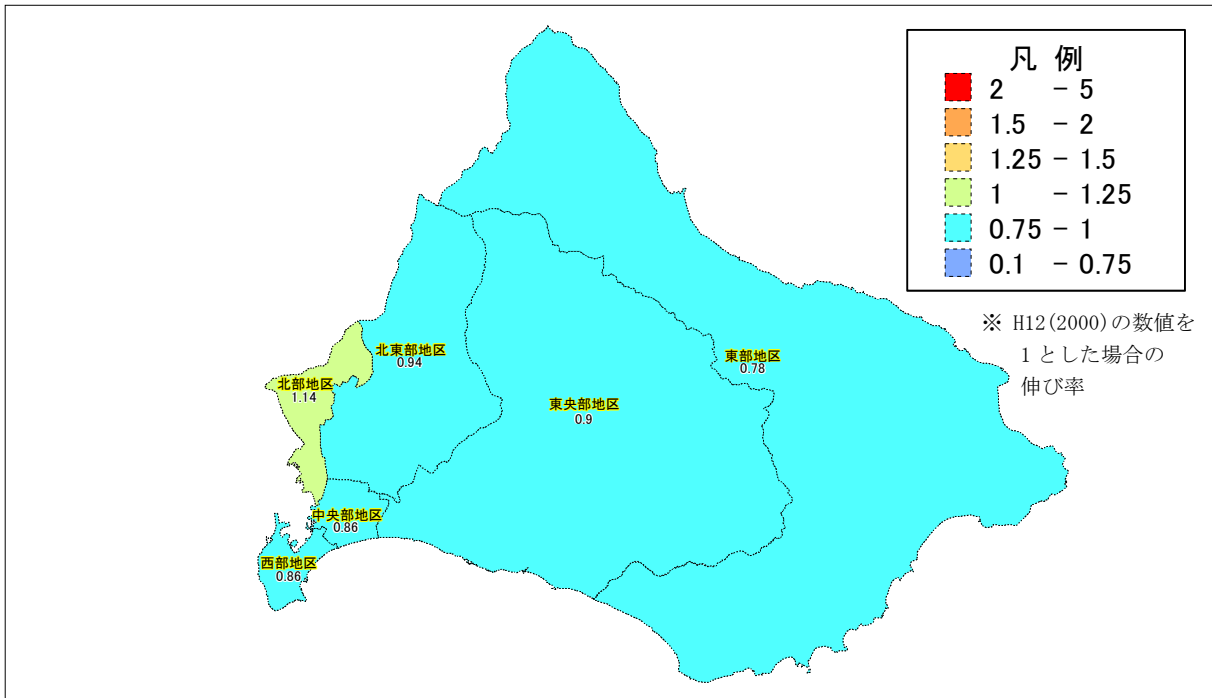
■ 40年前と比較すると、産業道路沿いの北部・北東部・東中部地区で増加しており、特に北東部地区では2倍以上に増加している。



資料：国勢調査

(イ) 人口伸び率比較【H12(2000) -H22(2010)】

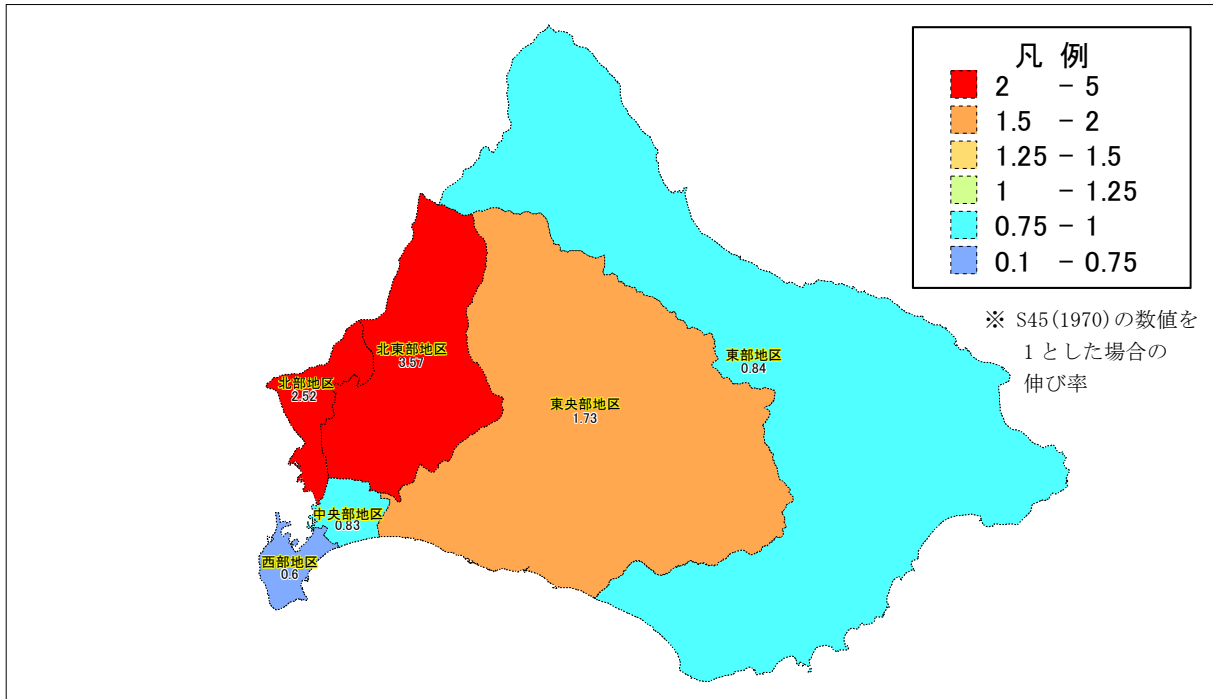
■ この10年間では、北部地区のみが増加し、北東部地区でも減少している。



資料：国勢調査

(ウ) 世帯数伸び率比較【S45(1970) -H22(2010)】

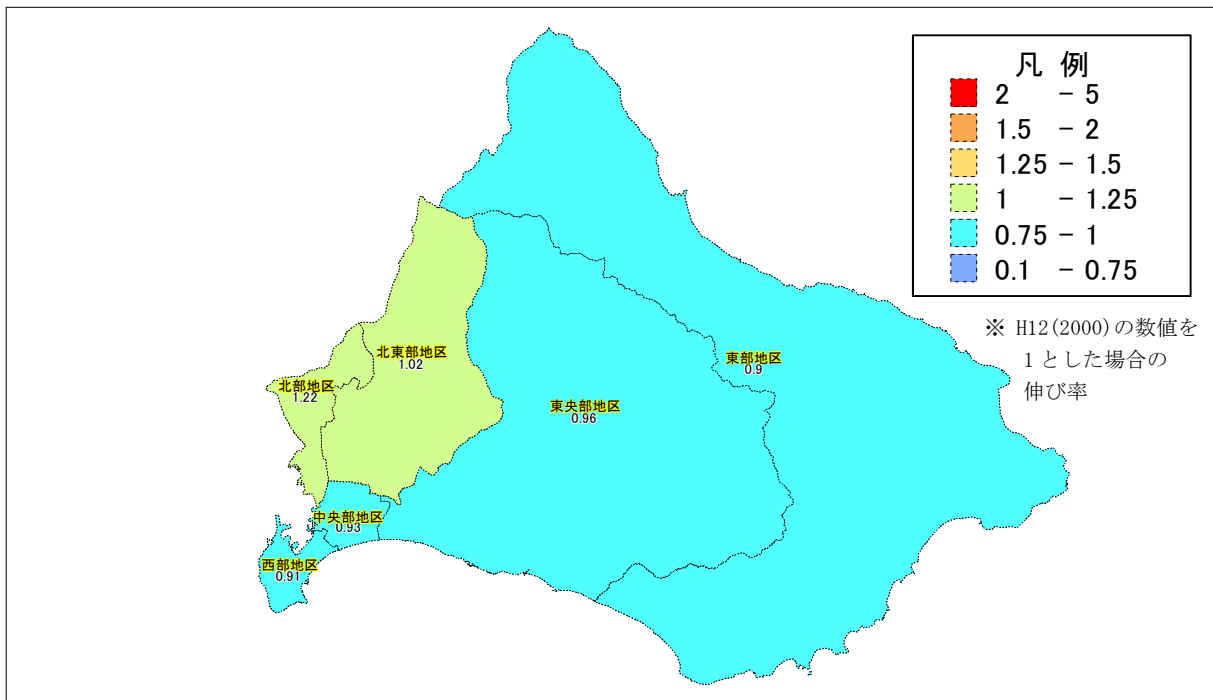
■ 40年前と比較すると、人口同様、産業道路沿いの北部・北東部・東央部地区で増加しており、特に北東部地区では3倍以上の増加となっている。



資料：国勢調査

(エ) 世帯数伸び率比較【H12(2000) -H22(2010)】

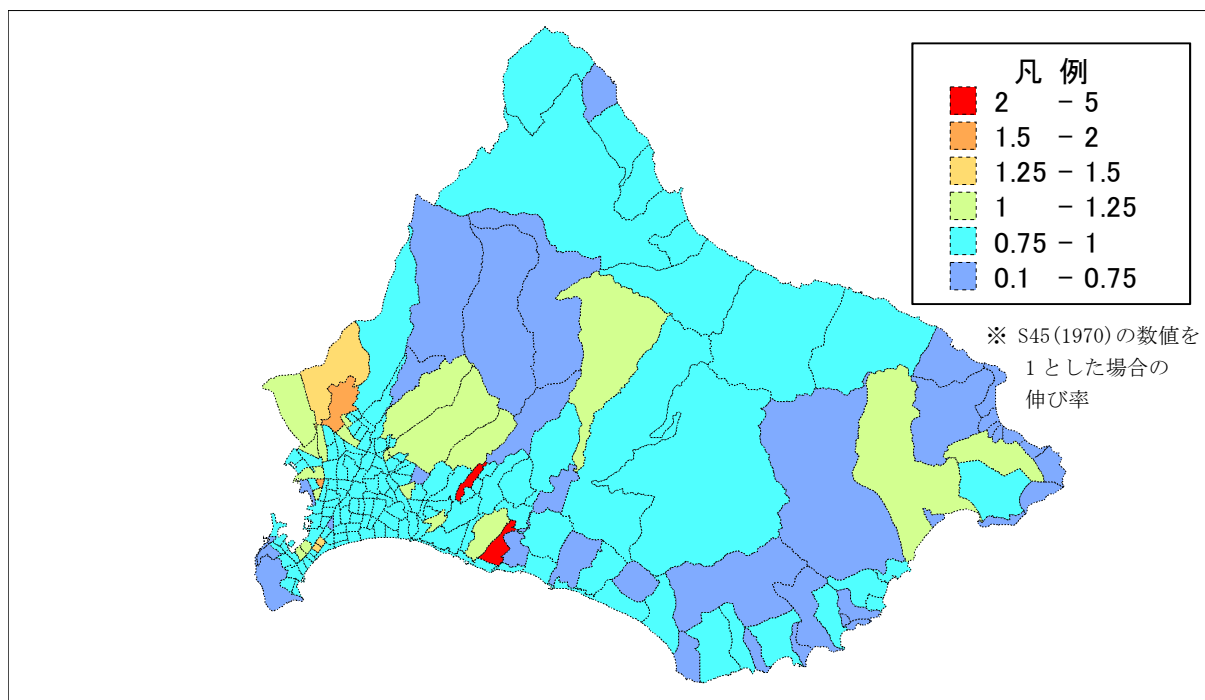
■ ここ10年間では、北部・北東部地区のみが増加し、北東部地区では、ほぼ横ばいとなっている。



資料：国勢調査

(オ) 町丁別人口伸び率比較【S45(1970) -H22(2010)】

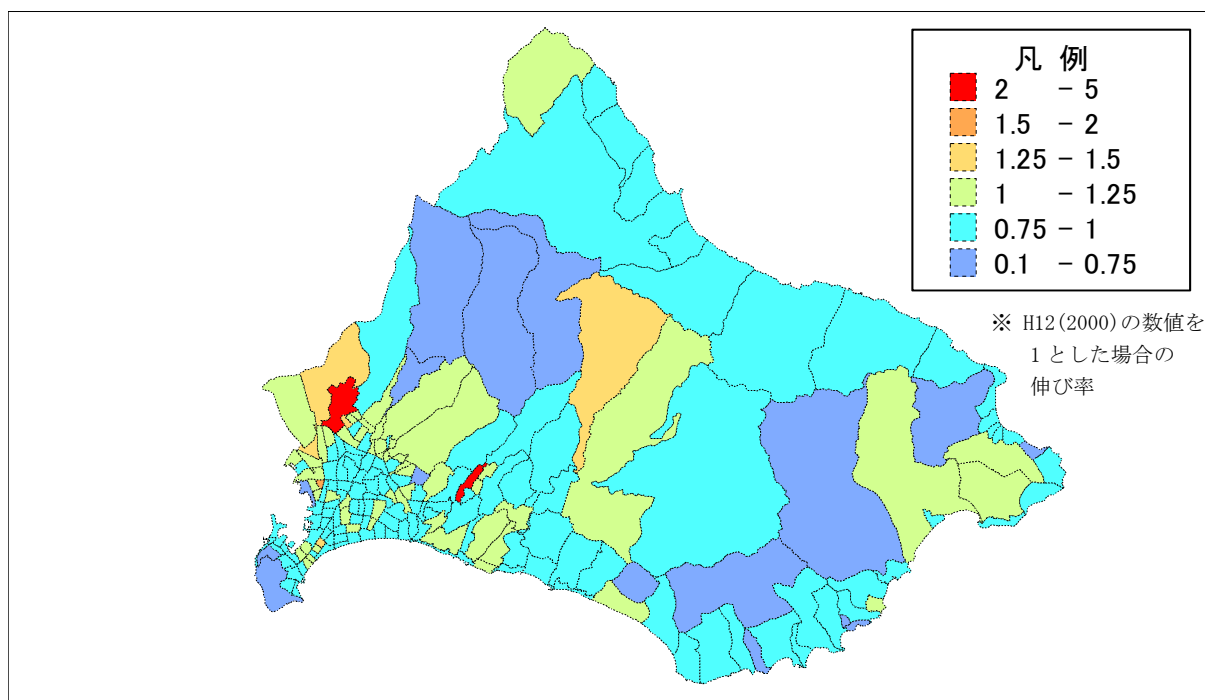
■ 40年前と比較すると、北部地区の桔梗周辺で人口が増加しているほか、郊外部での人口が増加している。



資料：国勢調査

(カ) 町丁別世帯数伸び率比較【H12(2000) -H22(2010)】

■ 10年前との比較では、人口と同様の傾向となっているほか、市電沿線の一部で増加している地域がある。

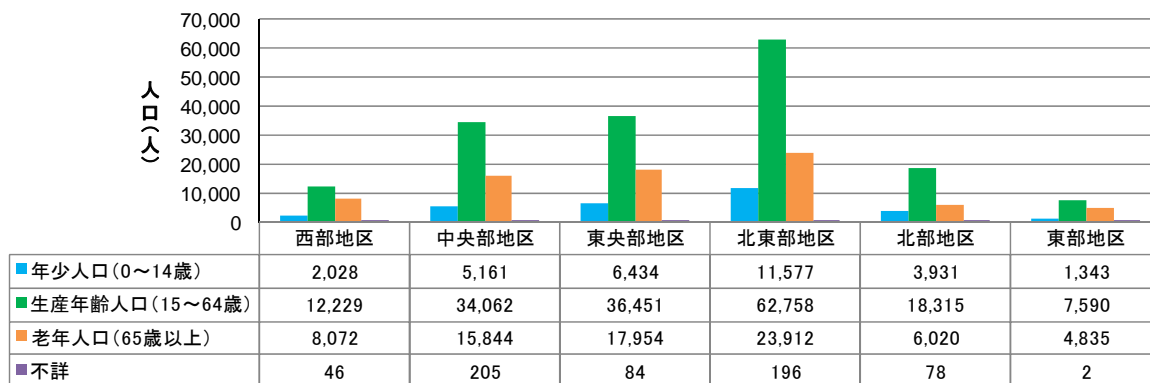


資料：国勢調査

才 地区別年齢3区分別人口

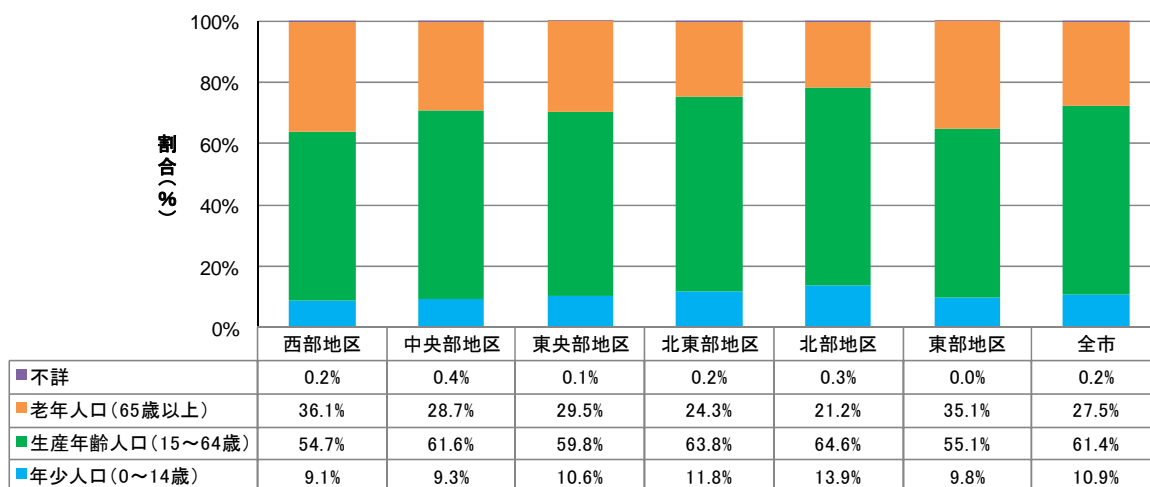
■ 西部・東部地区では、老年人口の割合が高く、近年、人口と世帯数が増加している北東部・北部地区においては、年少人口の割合が高くなっている。

地区別年齢3区分別人口【H22(2010)】



資料：国勢調査

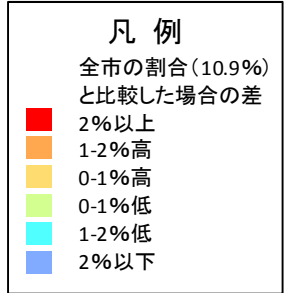
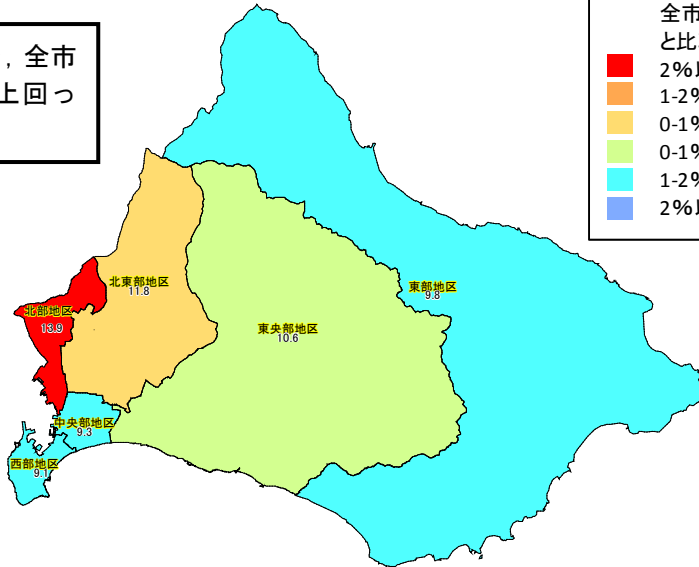
地区別年齢3区分別人口割合【H22(2010)】



資料：国勢調査

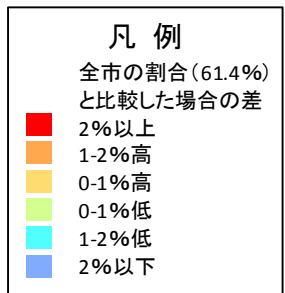
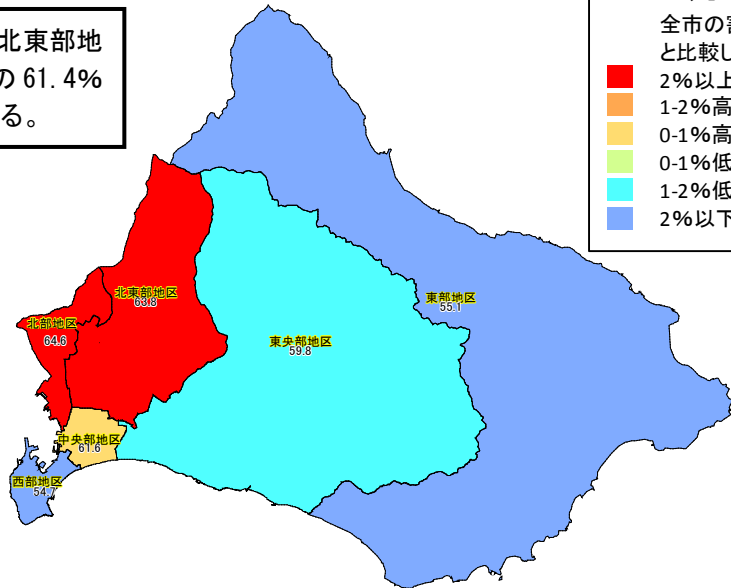
(7) 地区別年少人口割合

■ 北部地区が13.9%と、全市の10.9%を大きく上回っている。



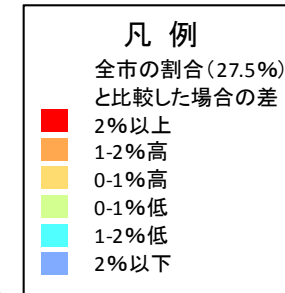
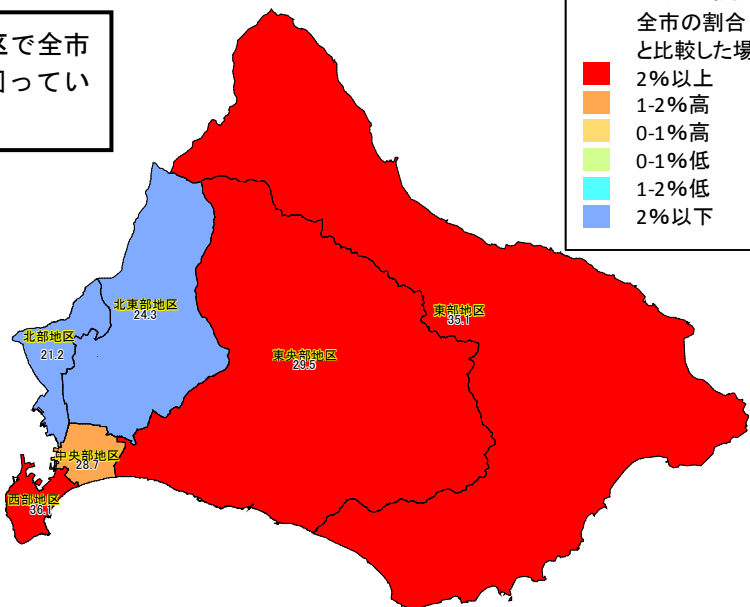
(4) 地区別生産年齢人口割合

■ 北部地区が64.6%、北東部地区が63.8%と、全市の61.4%を大きく上回っている。



(7) 地区別老年人口割合

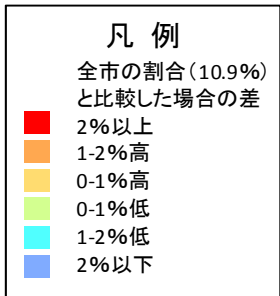
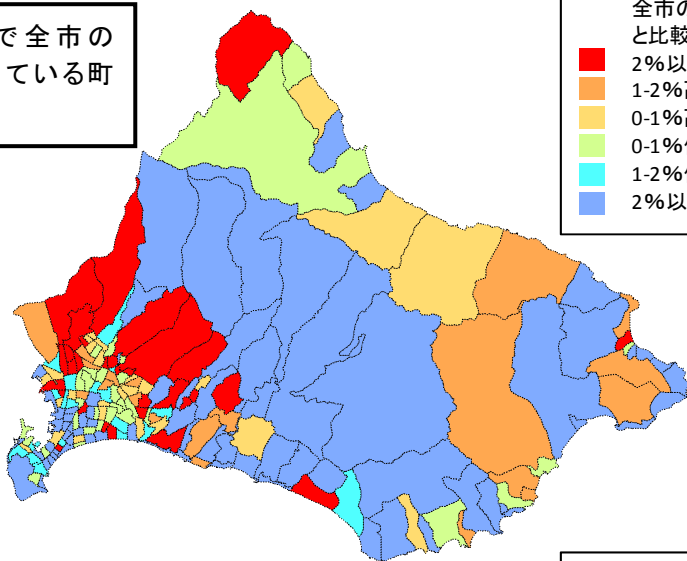
■ 西部・東中部・東部地区で全市の27.5%を大きく上回っている。



カ 町丁別年齢3区分別人口

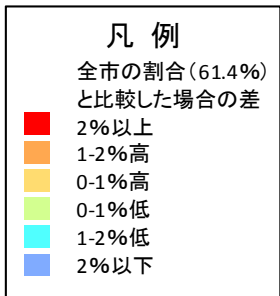
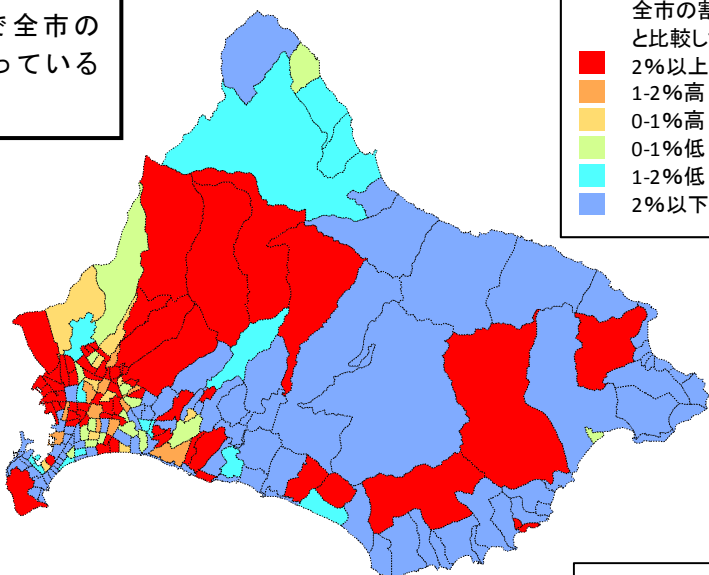
(7) 町丁別年少人口割合

■ 北部・北東部地区で全市の10.9%を大きく上回っている町丁が多くみられる。



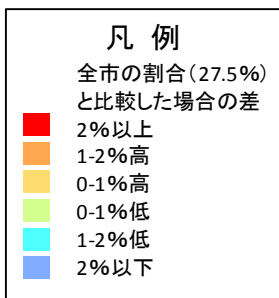
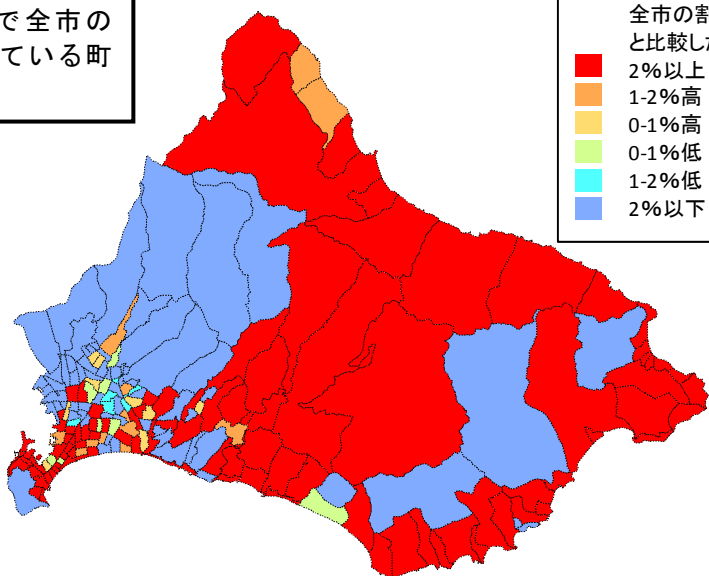
(4) 町丁別生産年齢人口割合

■ 北部・北東部地区で全市の61.4%を大きく上回っている町丁が多くみられる。



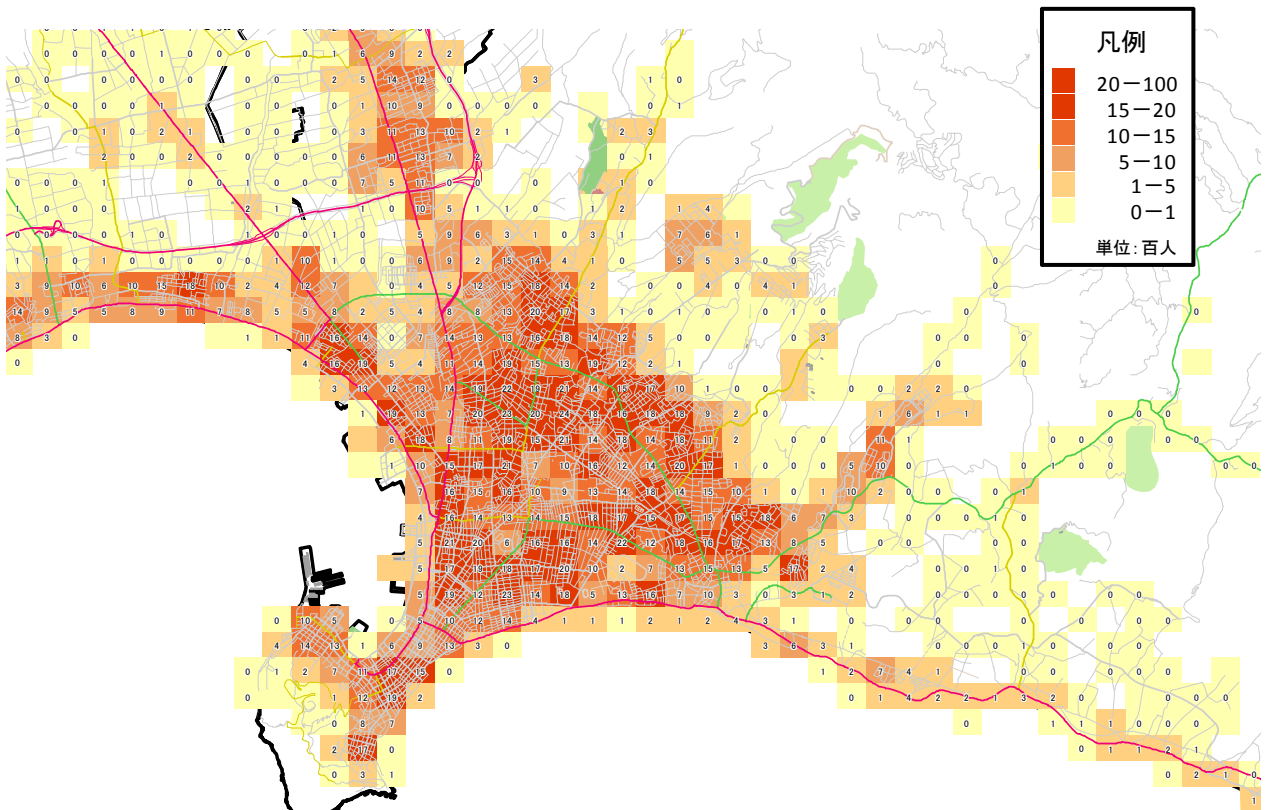
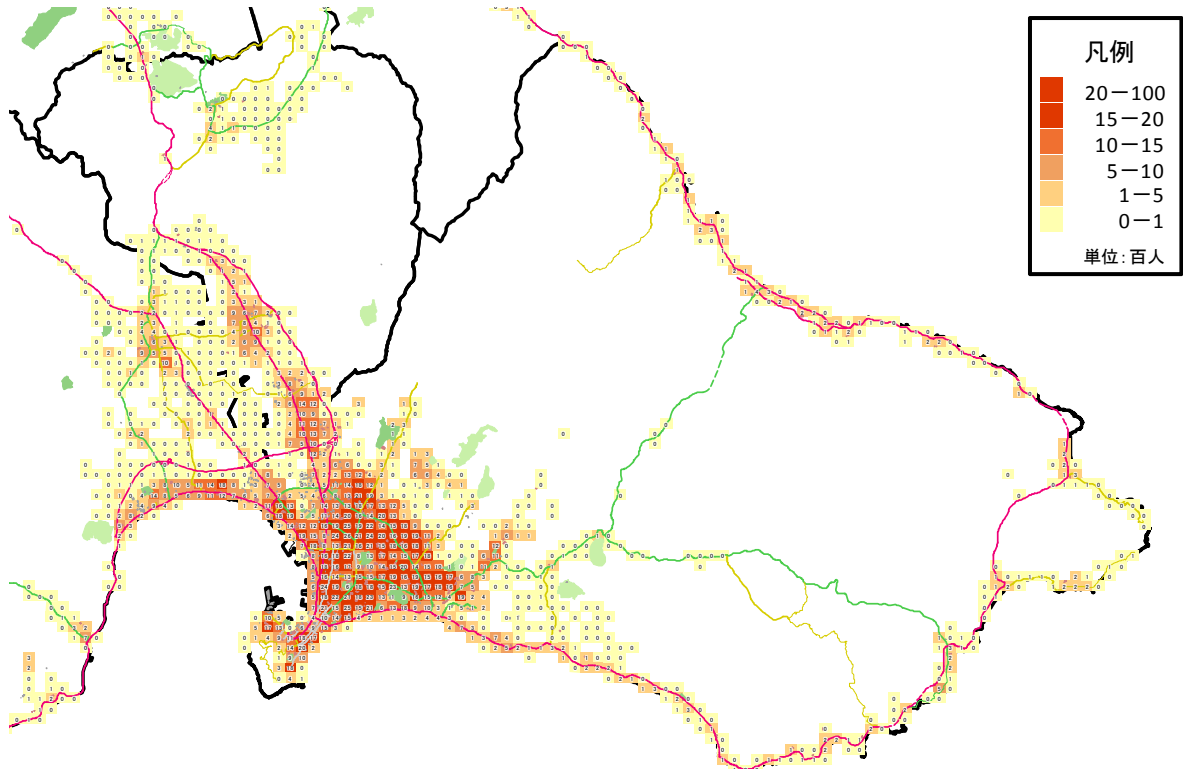
(7) 町丁別老年人口割合

■ 市電沿線と東部地区で全市の27.5%を大きく上回っている町丁が多くみられる。



キ 500m メッシュ人口【H22(2010)】

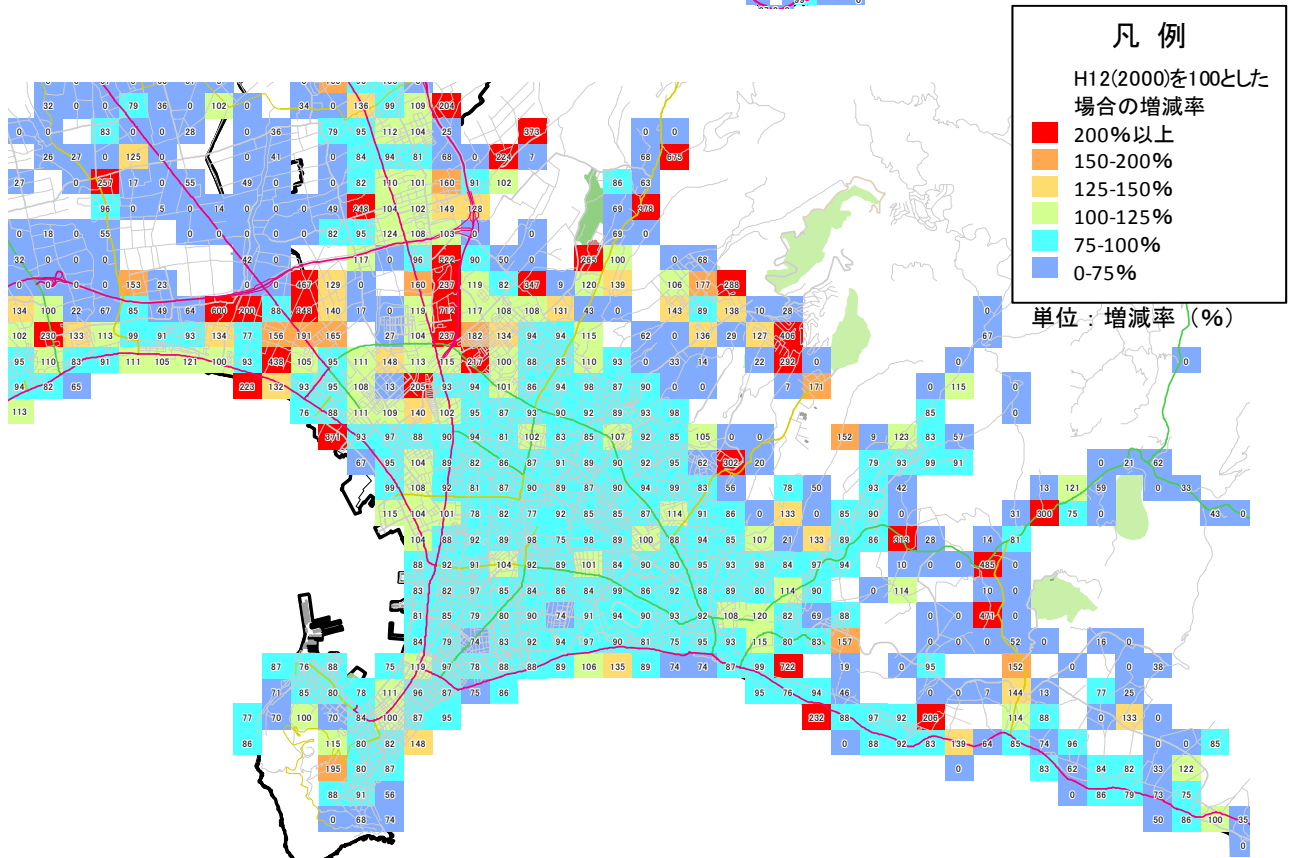
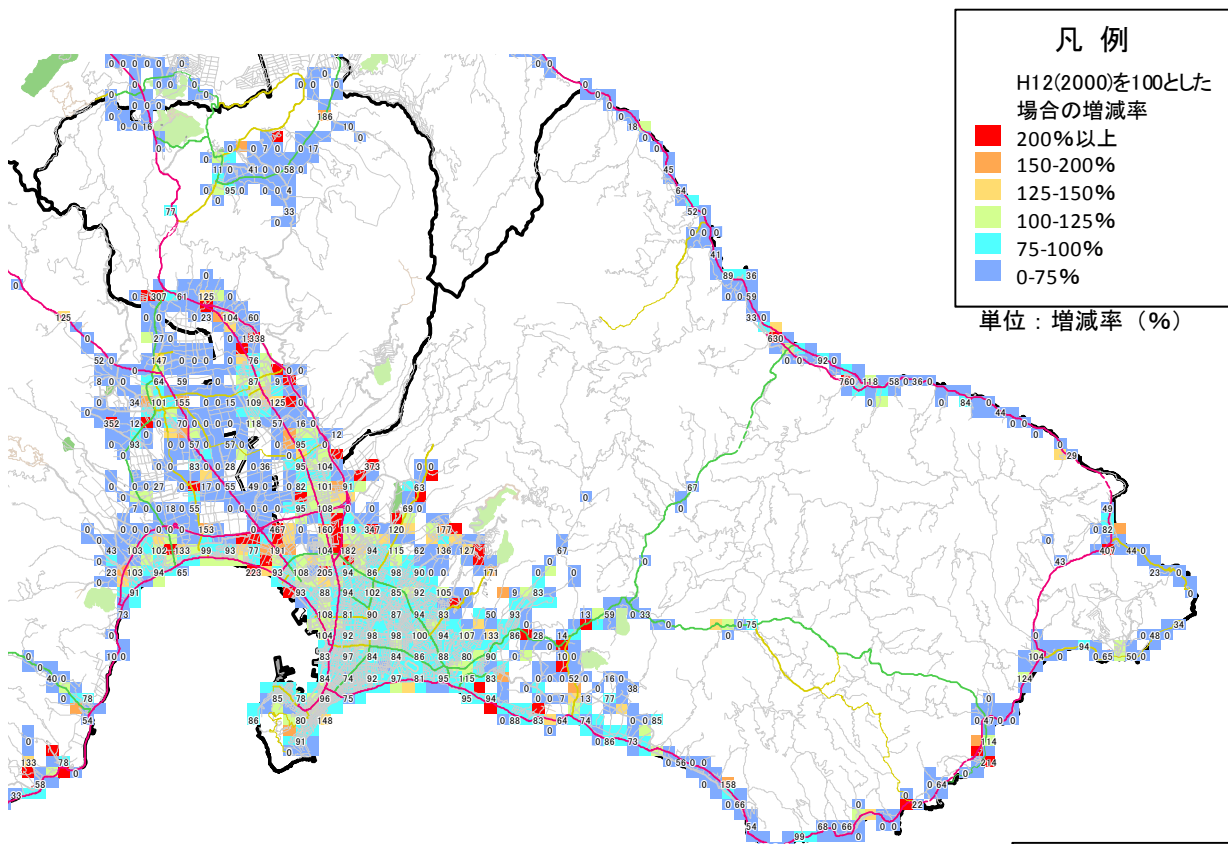
■ 産業道路沿線や五稜郭周辺など、幹線道路の沿線に人口が集積している。



資料：国勢調査

ク 500m メッシュ人口増減率比較【H12(2000) -H22(2010)】

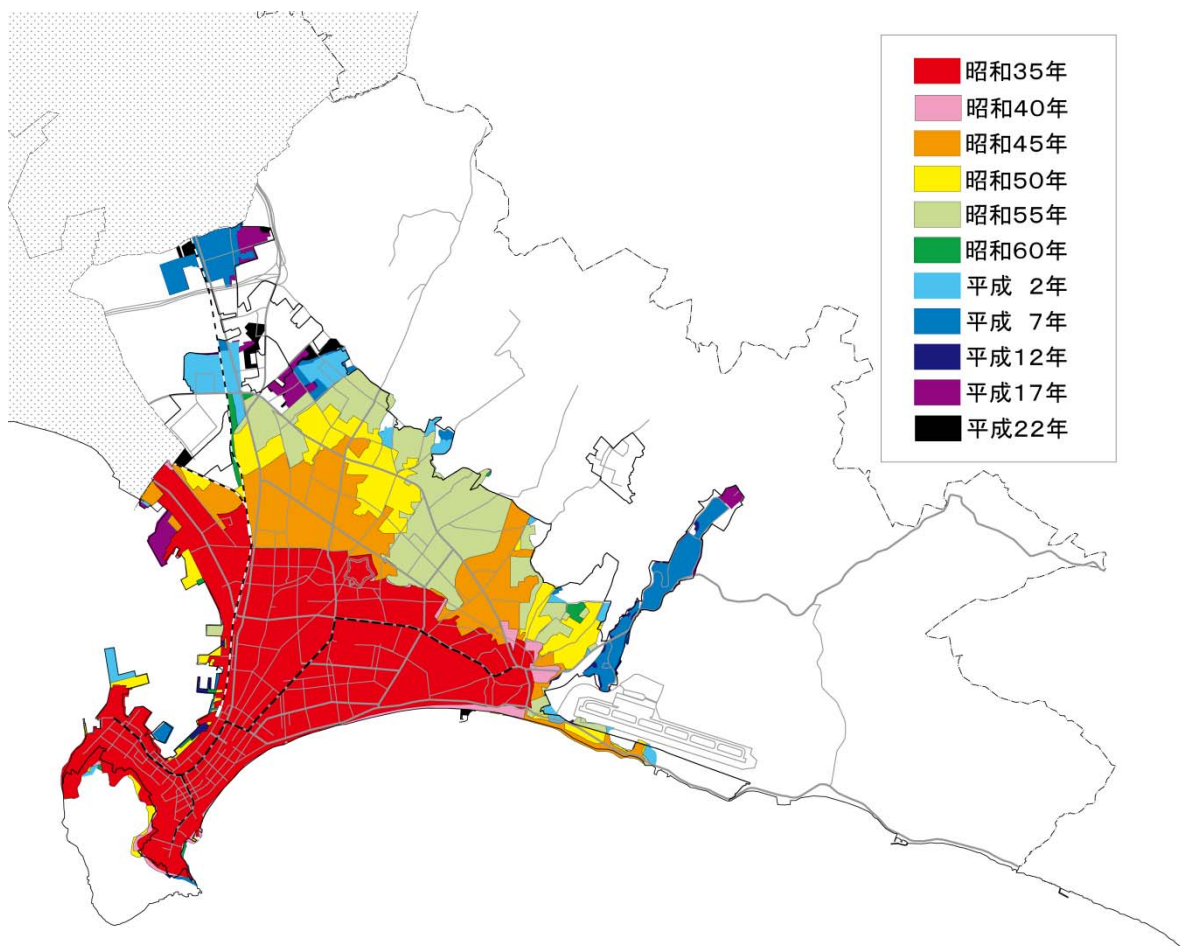
■ 産業道路沿線および外側と、放射系幹線道路沿線で人口が増加している。



資料：国勢調査

ケ D I D（人口集中地区）面積および人口密度の変遷

■ 昭和 55 年までは大きく拡大したものの、平成 2 年以降は、国道 5 号と道道函館南茅部線等の放射系幹線道路周辺でのわずかな拡大となっており、平成 22 年については、市街地内の空白地域を埋める程度の拡大となっている。



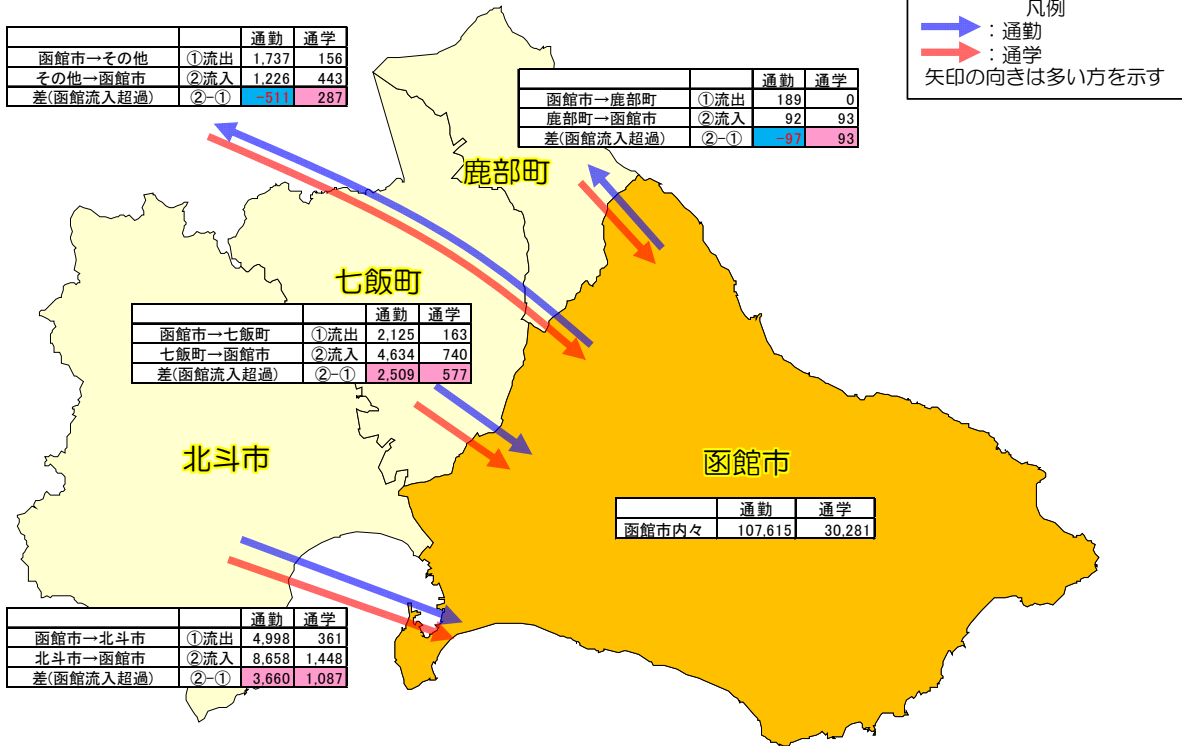
資料：国勢調査

※D I D（人口集中地区）：原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境域内で互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有するこの地域を「人口集中地区（D I D）」という。

(2) 通勤・通学流動

ア 函館市周辺の通勤・通学流動

■ 函館市と周辺市町からの通勤・通学流動では、北斗市と七飯町からの流入が多く、流入超過となっている。



イ 函館市内常住者の従業地・通学地分布

■ 函館市内常住者の約5%が北斗市，七飯町へ通勤している。

就業者・通学者	従業地・通学地					計
	函館市内	北斗市	七飯町	鹿部町	その他	
人						
15歳以上就業者数	107,615	4,998	2,125	189	1,737	116,664
通学者数	30,281	361	163	0	156	30,961
割合						
15歳以上就業者数	92.2%	4.3%	1.8%	0.2%	1.5%	100.0%
通学者数	97.8%	1.2%	0.5%	0.0%	0.5%	100.0%

ウ 函館市を従業地・通学地とする通勤通学者の常住地分布

■ 北斗市，七飯町常住者の約10%が函館市へ通勤している。

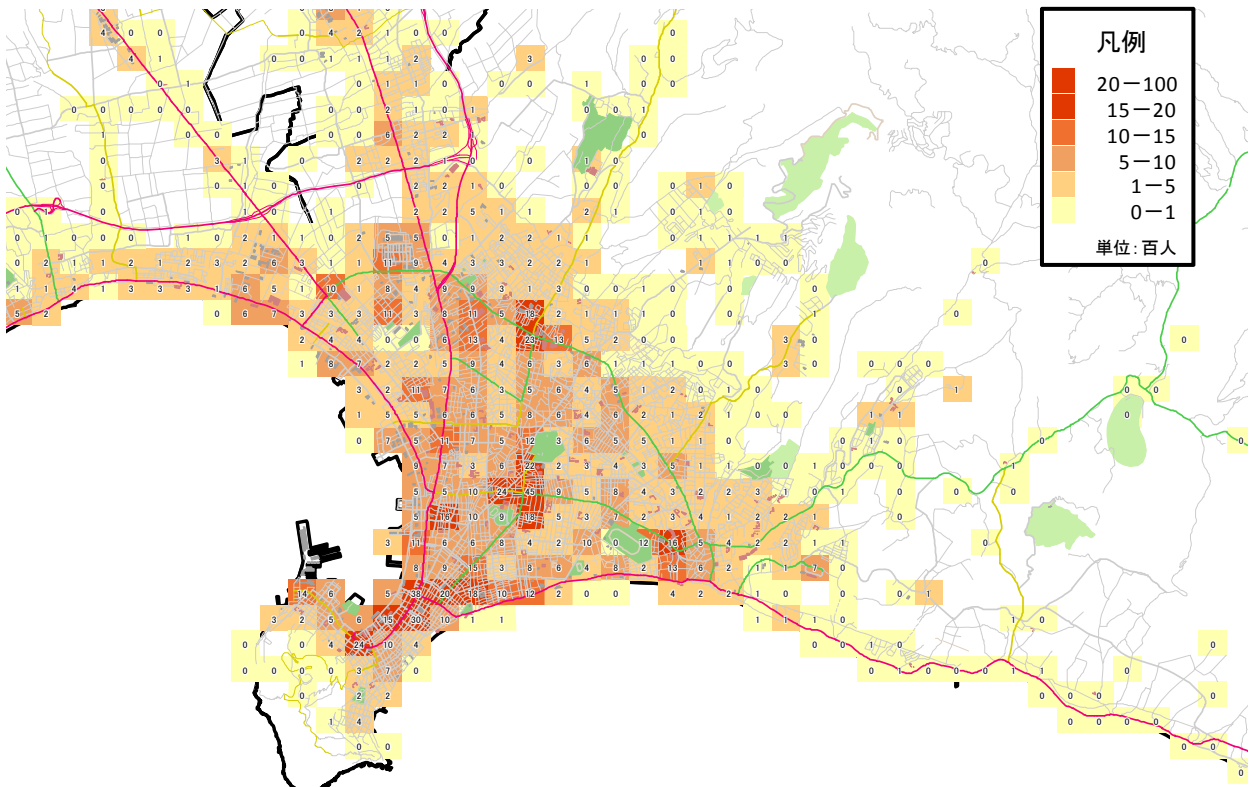
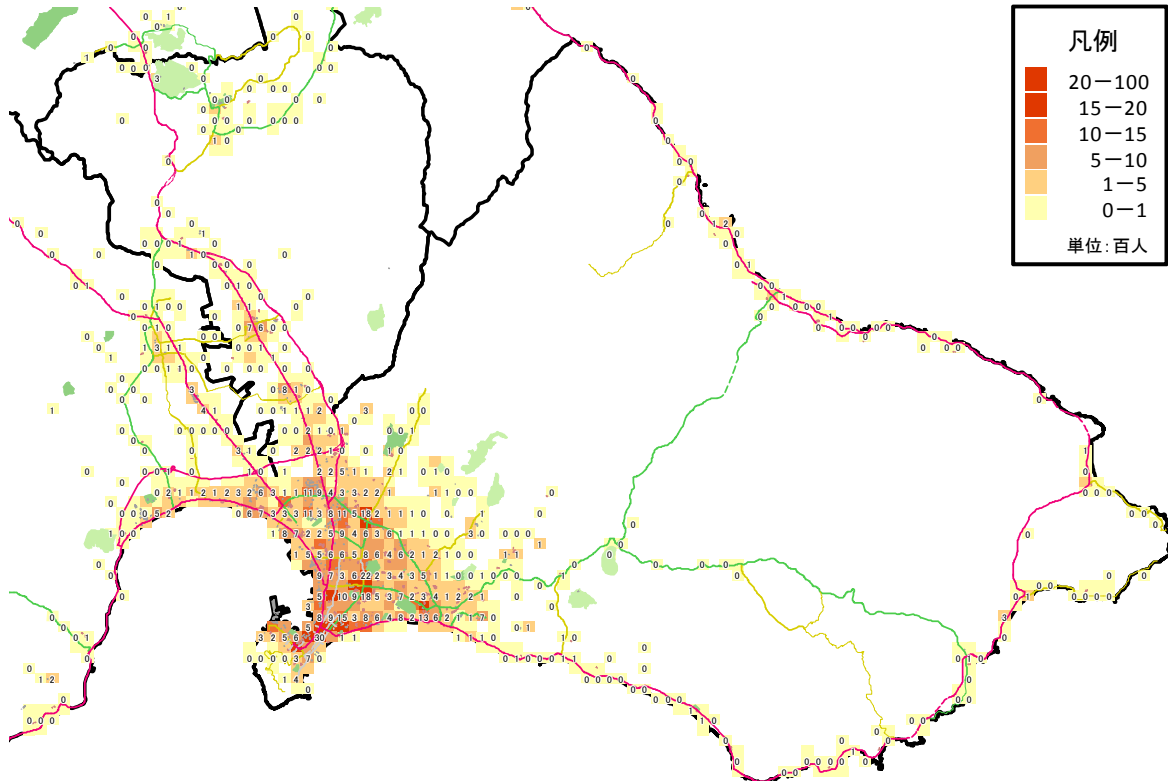
就業者・通学者	常住地				その他	計
	函館市内	北斗市	七飯町	鹿部町		
人						
15歳以上就業者数	107,615	8,658	4,634	92	1,226	122,225
通学者数	30,281	1,448	740	93	443	33,005
割合						
15歳以上就業者数	88.0%	7.1%	3.8%	0.1%	1.0%	100.0%
通学者数	91.7%	4.4%	2.2%	0.3%	1.3%	100.0%

※「函館市内」には旧4町村を含む

資料：国勢調査

エ 500m 従業者メッシュ 【H22 (2010)】

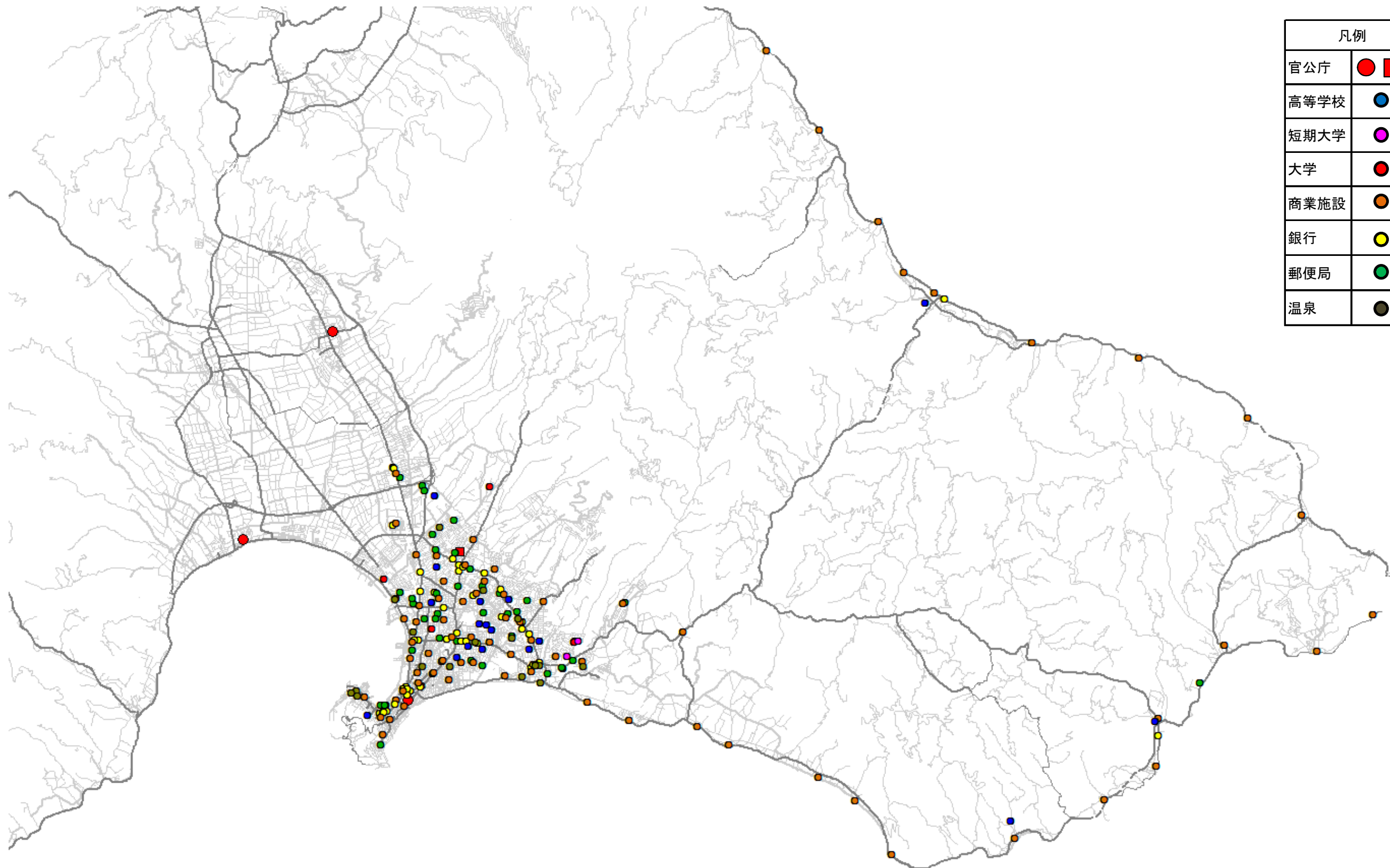
■ 函館駅前や五稜郭地区、美原地区、湯川温泉地区に従業者が集積している。



資料：国勢調査

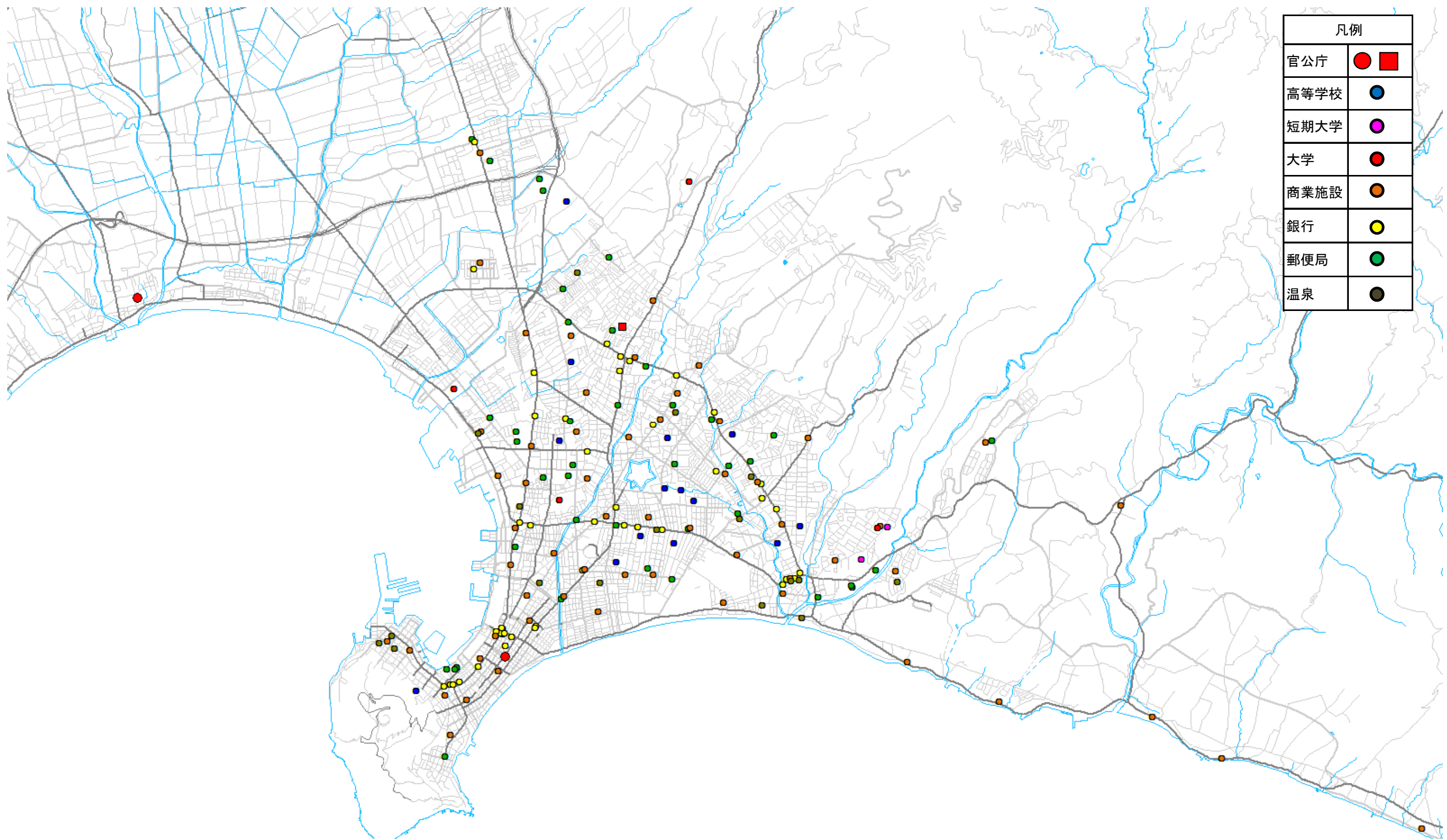
オ 主要施設分布【H22(2010)】

■ 函館駅前や五稜郭地区、美原地区、湯の川温泉地区に施設が集積している。



凡例	
官公庁	● ■
高等学校	●
短期大学	●
大学	●
商業施設	●
銀行	●
郵便局	●
温泉	●

■ 幹線道路沿線には商業施設が多く立地し、美原地区・湯の川温泉地区、五稜郭周辺、には銀行などの金融機関が集積している。一方で学校等については、幹線道から距離を置いた場所に立地している。



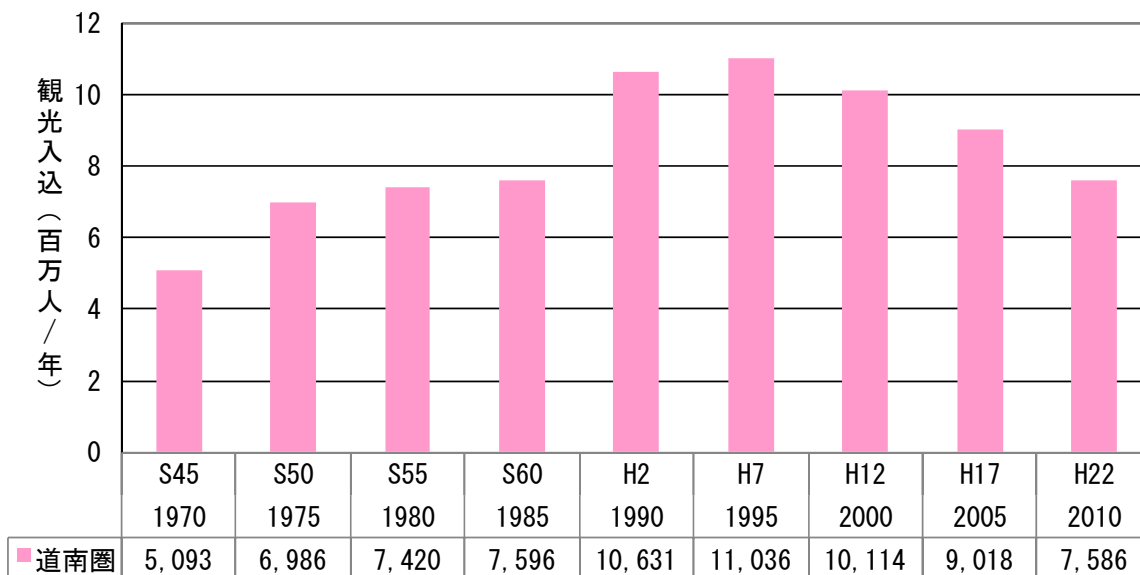
資料：デジタル地図データ

(3) 観光入込客数・動向

ア 年度別観光入込客数の推移

- 道南圏では、平成7年度以降、観光入込客数は減少傾向が続いている。
- 函館市では、平成17年度以降、観光入込客数は500万人を割っている。

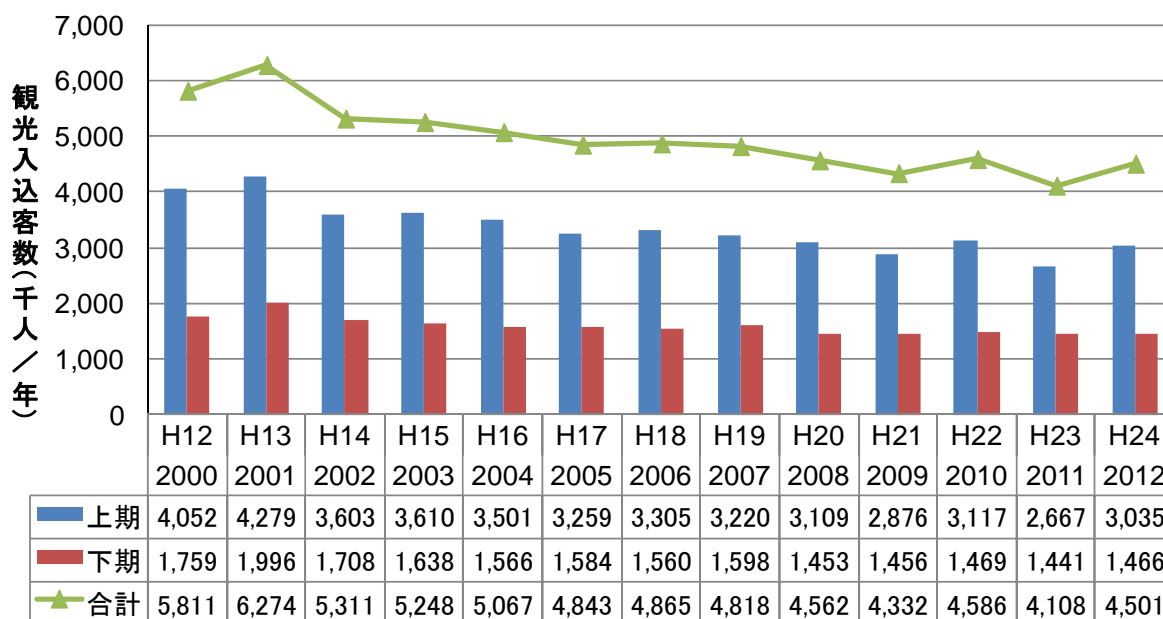
道南圏の年度別観光入込客数の推移



道南圏(S45以降時系列データが完備する函館市・松前町・七飯町・恵山町・長万部町・江差町・奥尻町のみ)

資料：北海道観光統計

函館市の年度別観光入込客数の推移



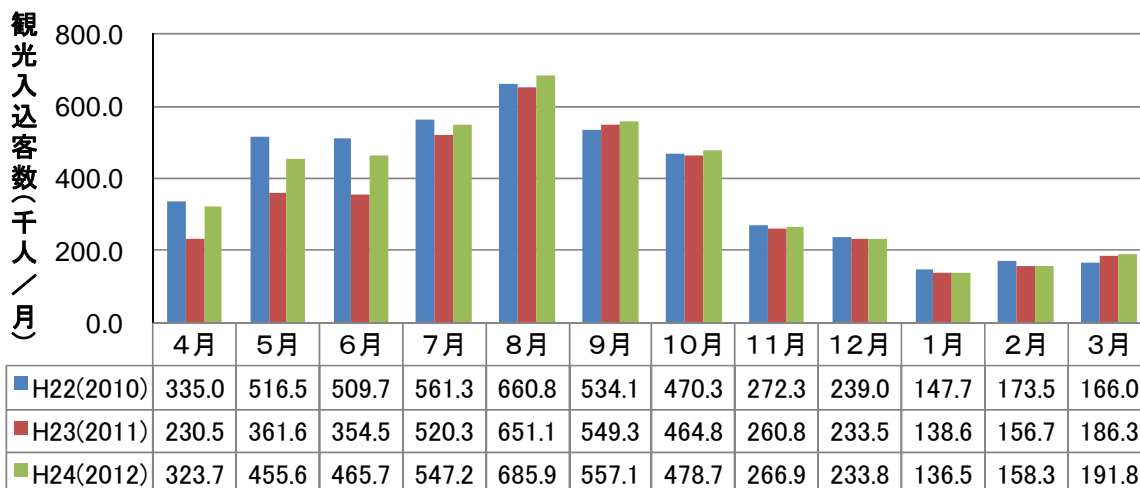
※旧4町村含む

資料：北海道観光統計

イ 月別観光入込客数の推移

■ 平成 23 年度のは前半は、震災の影響で大きく減少したが、8 月以降から平成 24 年度はほぼ例年並みとなっている。

函館市の月別観光入込客数の推移

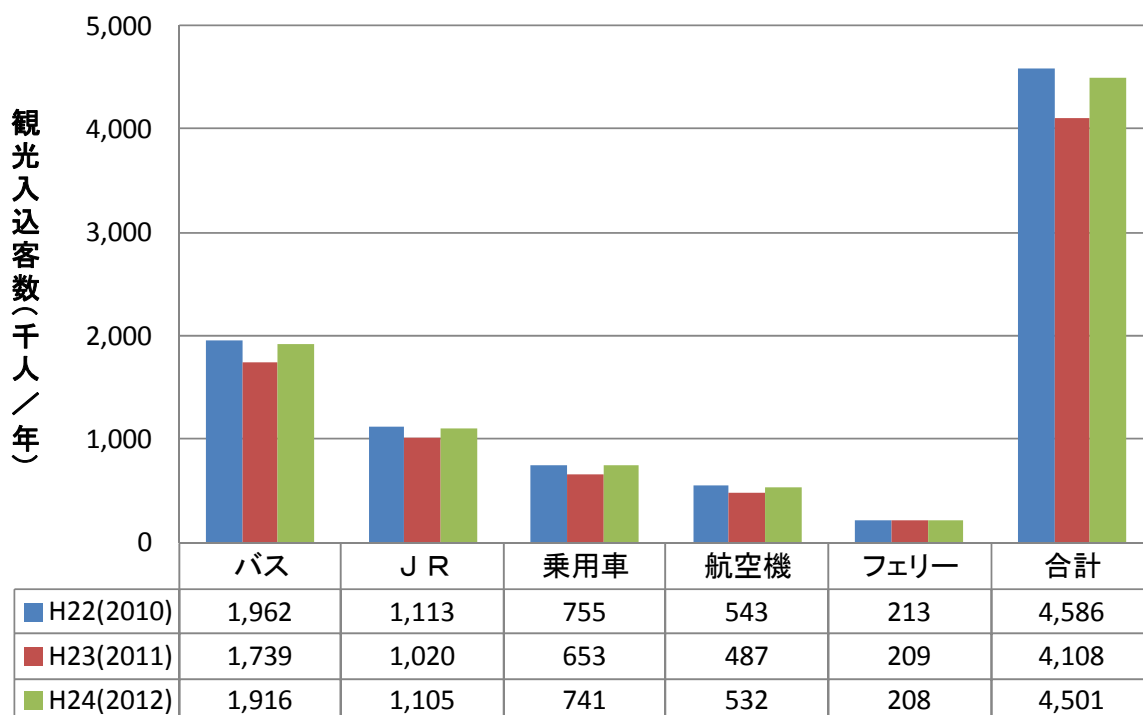


※旧 4 町村含む
資料：北海道観光統計

ウ 交通機関別来函観光入込客数の推移

■ バス・JRは安定した利用状況となっているが、航空機・フェリーについては減少傾向となっている。

交通機関別来函観光入込客数の推移

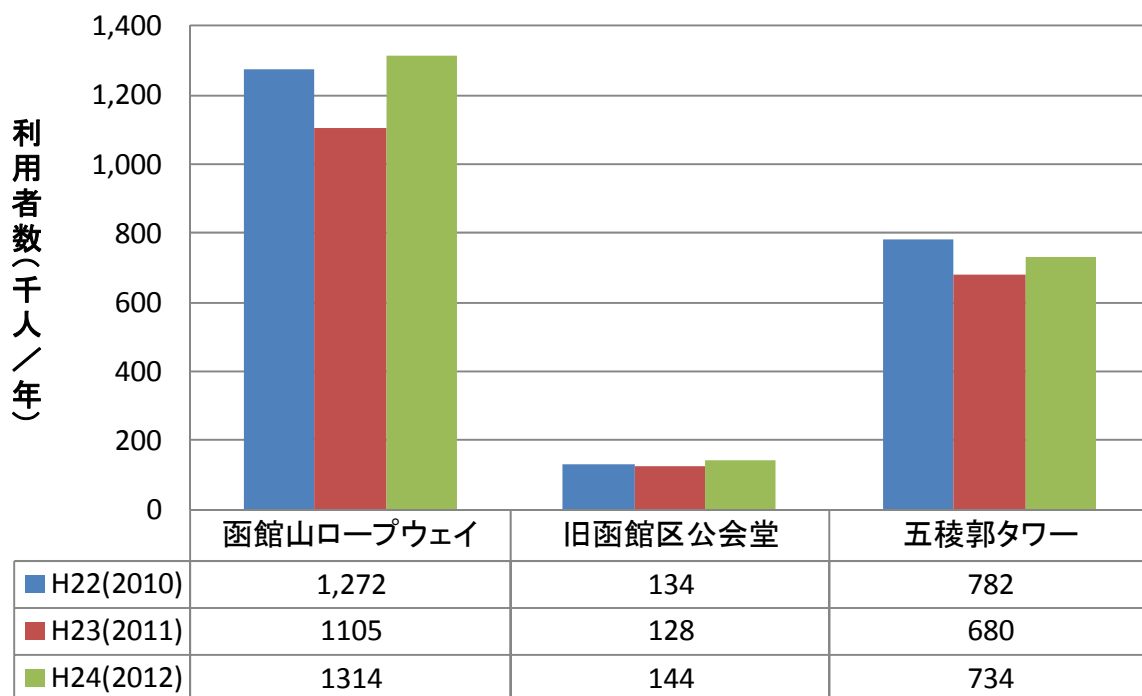


資料：函館市統計書

エ 函館市内観光施設別利用者数の推移

■ 函館山ロープウェイの利用者数が最も多いものの減少傾向となっている。一方、五稜郭タワーは、平成16年の新タワー開業後、利用者数が増加している。

函館市内観光施設別利用者数の推移



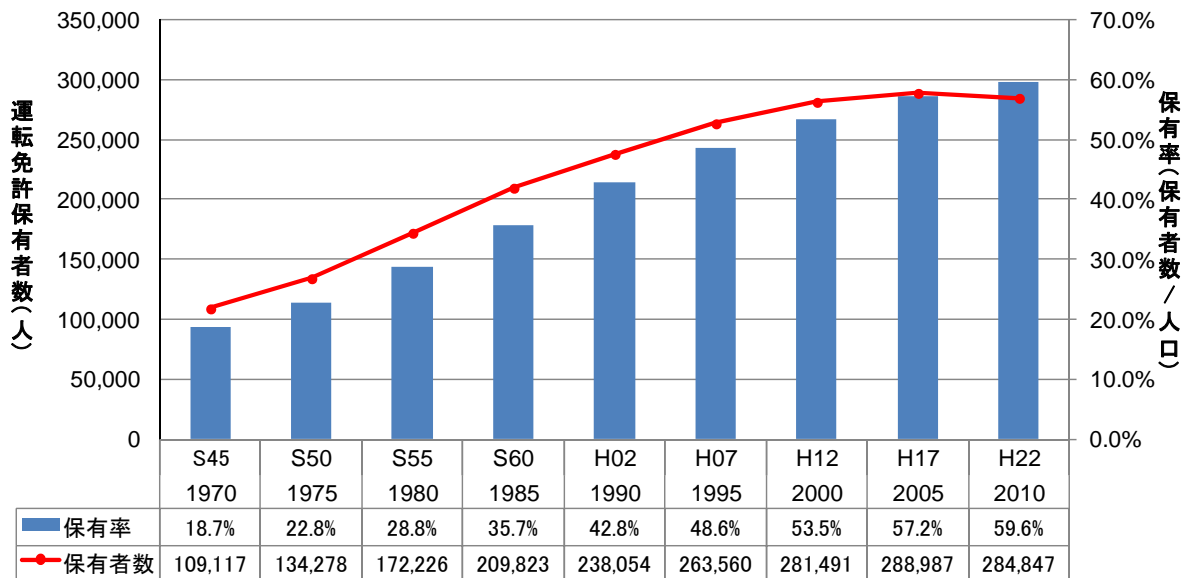
資料：函館市統計書

(4) 運転免許保有者数・自動車保有台数の推移

ア 運転免許保有者数の推移（北海道警察函館方面本部管内）

■ 渡島・檜山管内における運転免許保有者数は、平成17年以降減少しているものの、保有率については、増加が続いている。

運転免許保有者数の年別推移(北海道警察函館方面本部管内)



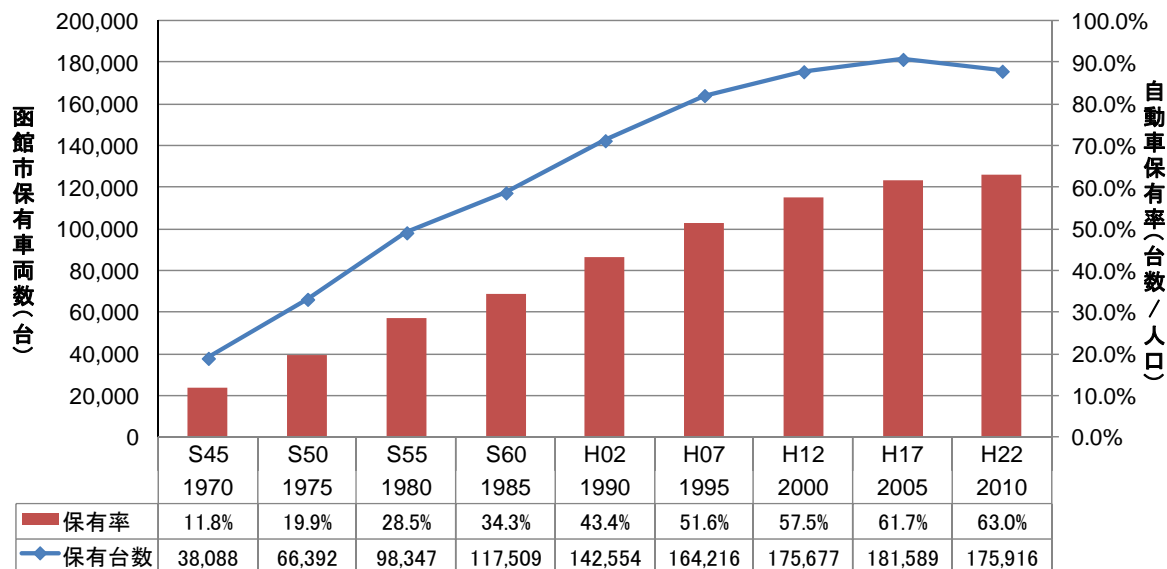
函館方面本部管内(渡島総合振興局・檜山振興局管内市町村+島牧村・寿都町・黒松内町)

資料：交通年鑑

イ 自動車保有台数の推移（函館市）

■ 函館市における自動車保有台数については、平成17年度以降減少しているものの、自動車保有率は、増加が続いている。

年度別函館市保有車両数の推移(総車両数)



※旧4町村含む

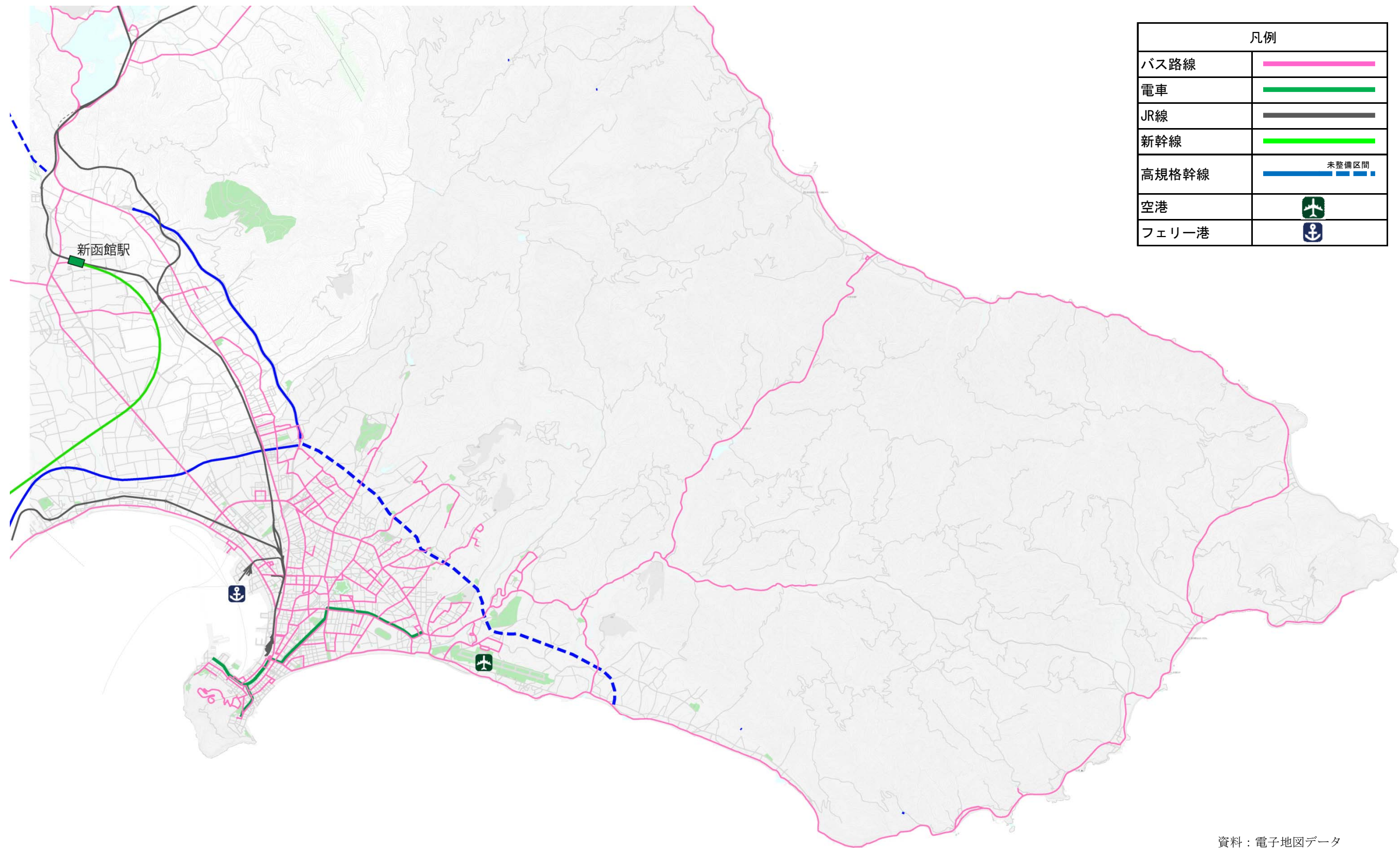
資料：北海道自動車統計

3 公共交通利用状況

(1) 現況交通体系図

ア 広域交通体系図

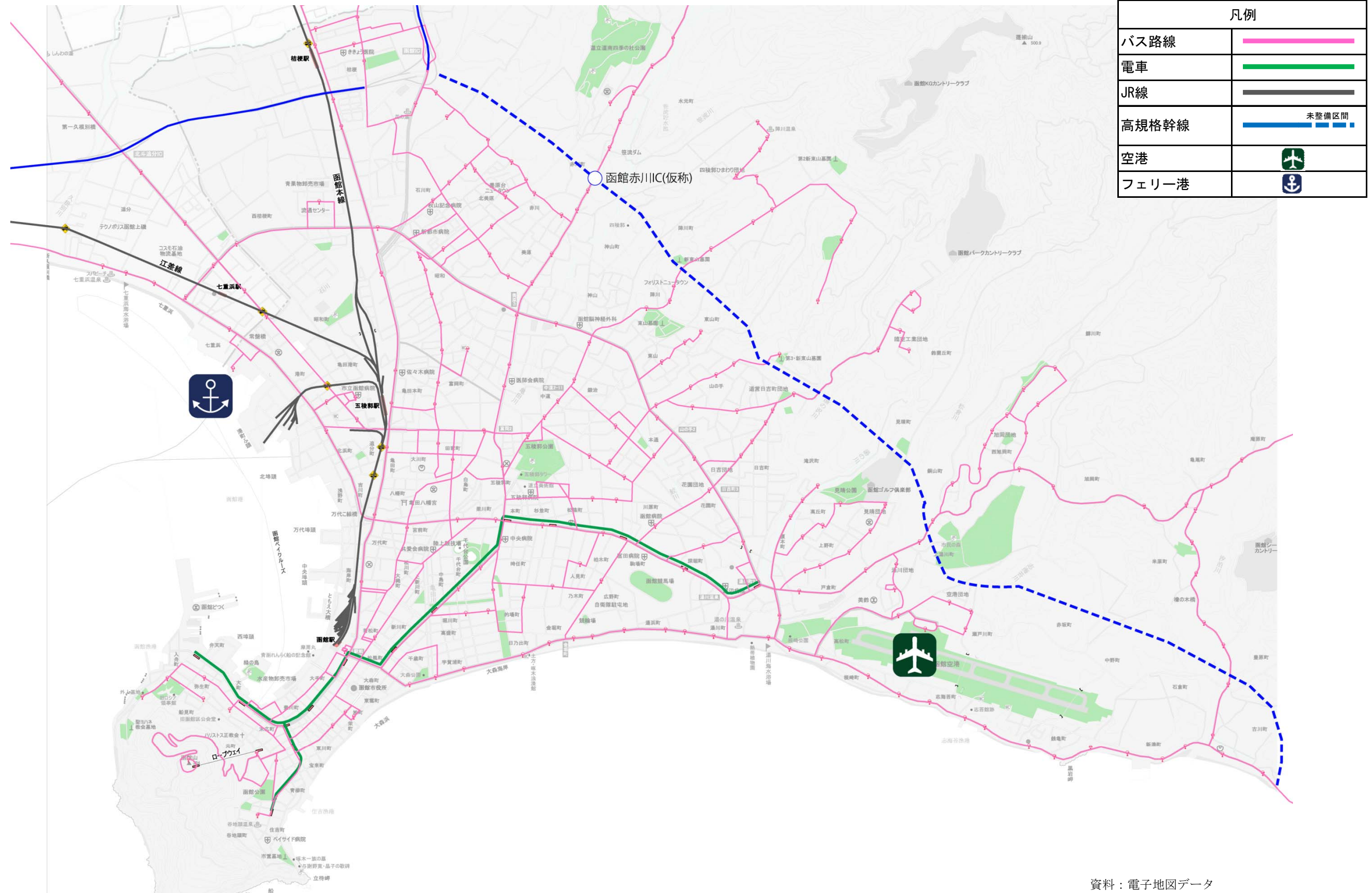
■ 広域交通については、郊外部に高速道路・フェリー・空港が配置されているほか、北海道新幹線が平成 27 年度末までに開業する予定である。



資料：電子地図データ

イ 市内交通体系図

■ 市内においては、市電とJRを交通基幹軸とし、都市計画道路等の幹線道路には概ねバス路線が組み込まれており、市内主要地点への公共交通での移動を支えている。

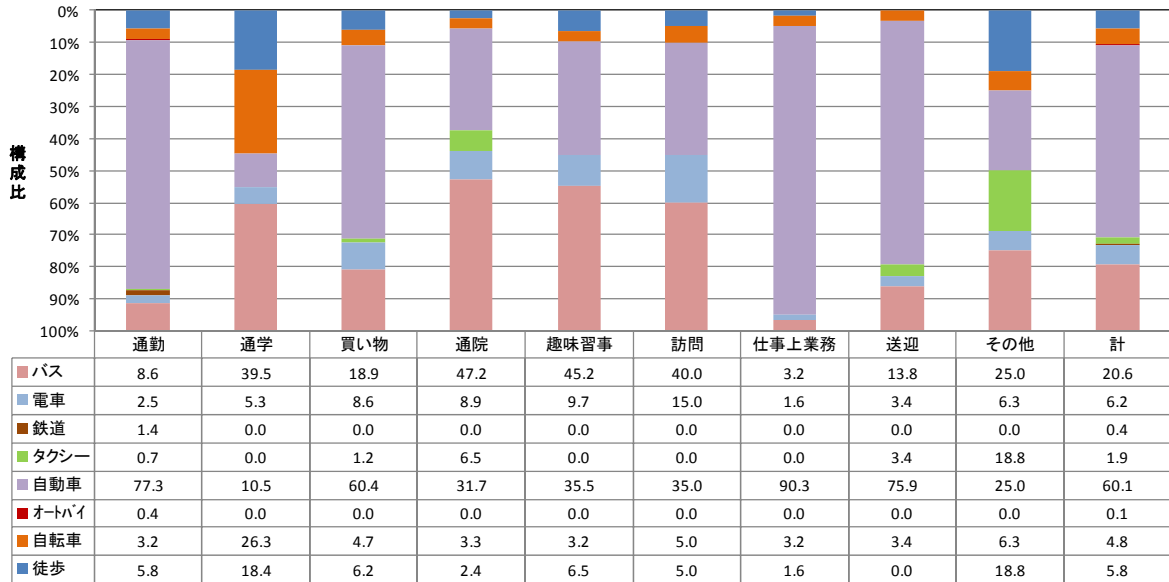


資料：電子地図データ

(2) 交通手段分担率

ア 外出目的別の利用交通手段別割合

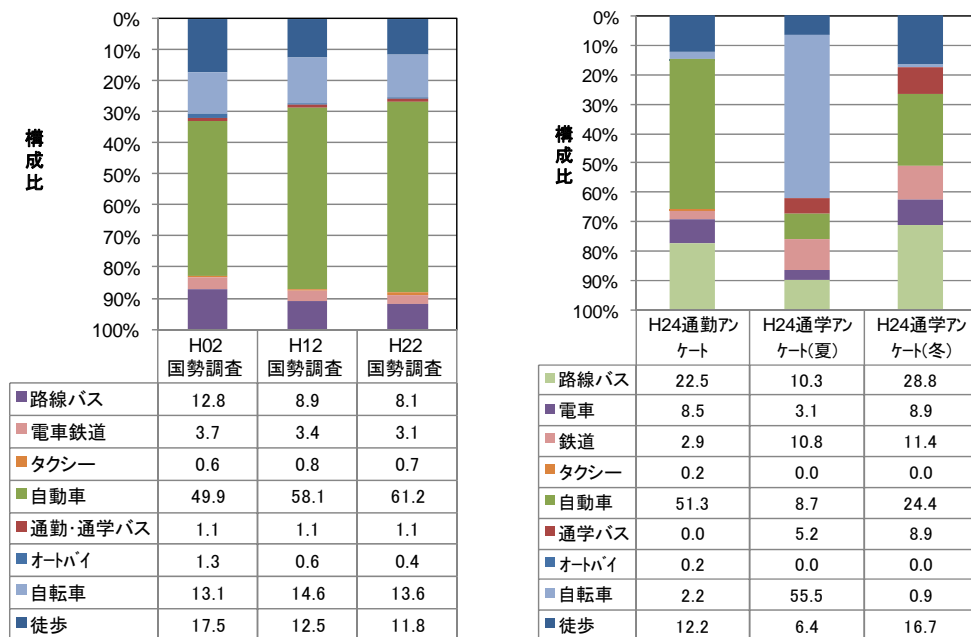
- 年少人口や老年人口の主目的となる通学・通院・趣味習事といった私用目的では、公共交通の利用割合が高い。
- 生産年齢人口の主目的となる通勤や仕事上業務では、自動車の割合が圧倒的に高い。



資料：函館市アンケート調査結果

イ 通勤・通学者の利用交通手段別割合

- 通勤・通学者の自動車の利用割合が、平成2年の調査時から大きく伸びている。
- 通学時には、冬季に自転車から公共交通への転換が多くみられている。



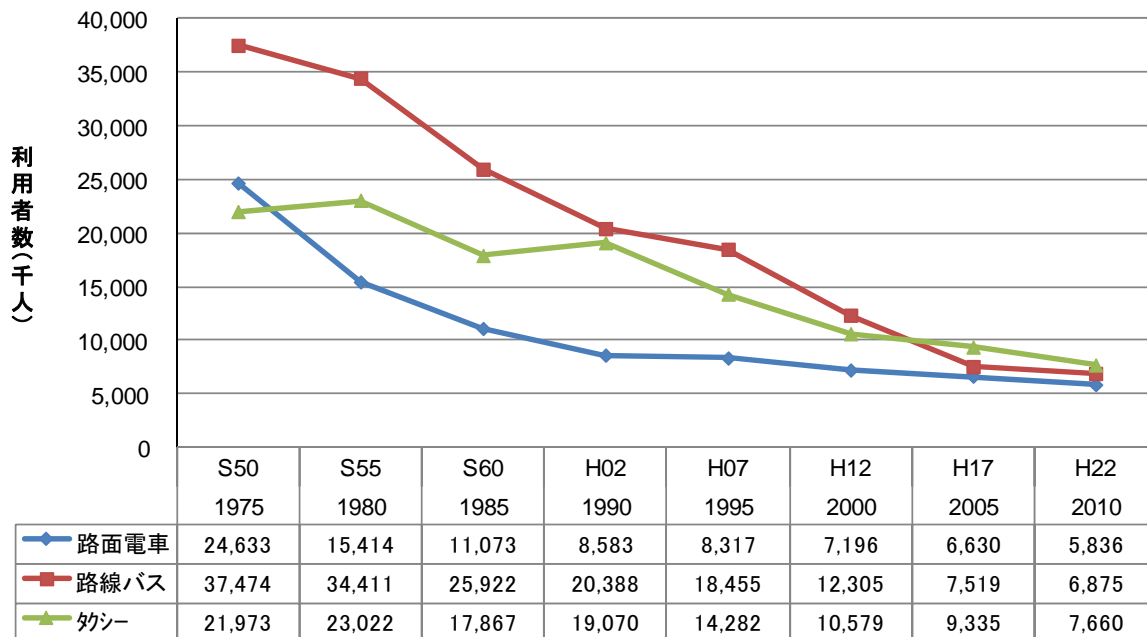
資料：国勢調査・函館市アンケート調査結果

(3) 交通機関別利用者数の推移

ア バス・電車・タクシーの利用者数の推移

■ 公共交通利用者は、昭和 50 年以降、大幅に減少したが、平成 17 年以降は微減となっている。

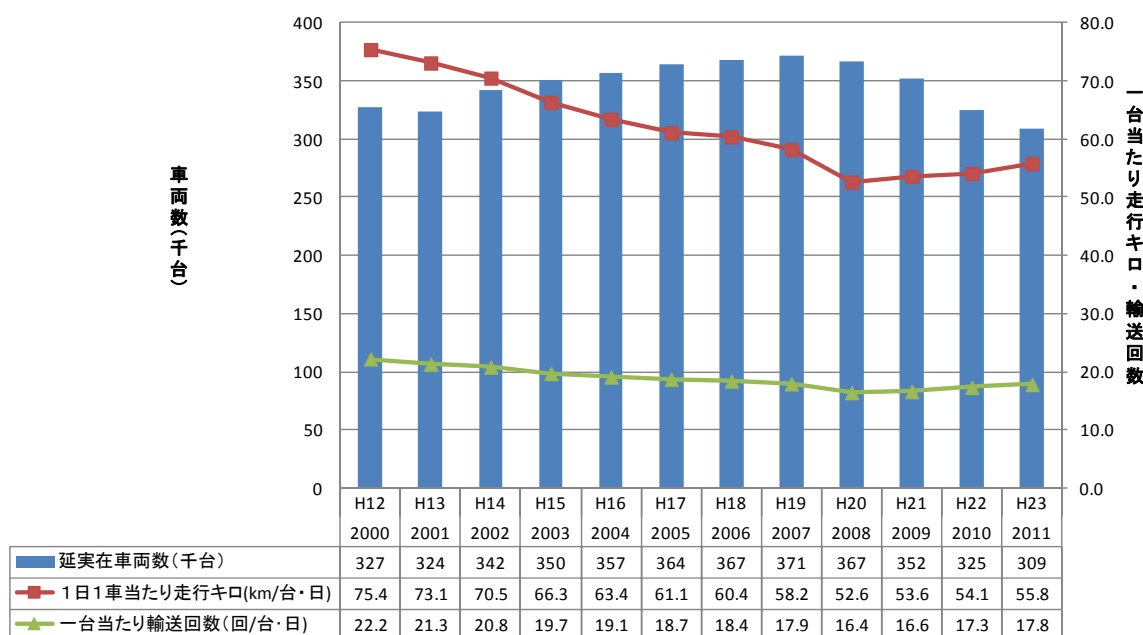
交通機関別利用者数の推移



資料：函館市統計書

イ ハイヤー・タクシー事業の推移

■ 平成 20 年以降、車両数の減少により、1 台当たり走行キロ・輸送回数が増加している。

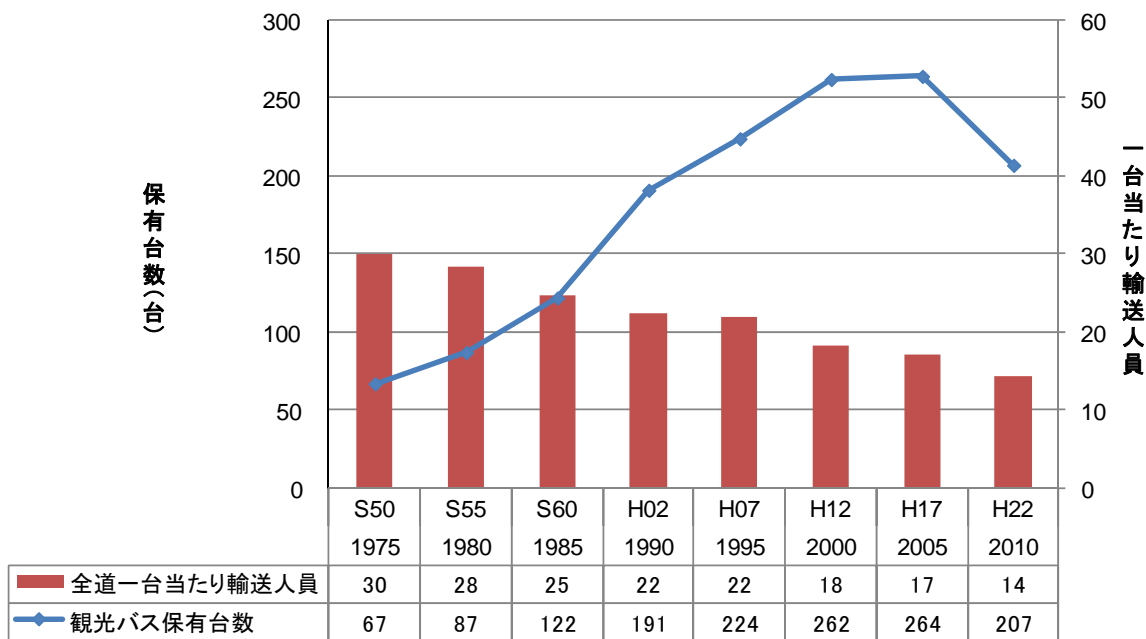


資料：函館交通圏タクシー特定地域協議会資料

ウ 貸切（観光）バスの保有台数と一台当たり輸送人員

■ 函館市内の観光バス保有台数は、平成 17 年度以降減少している。

観光バス保有台数(函館市)と全道の貸切バス一台当たり輸送人員の推移

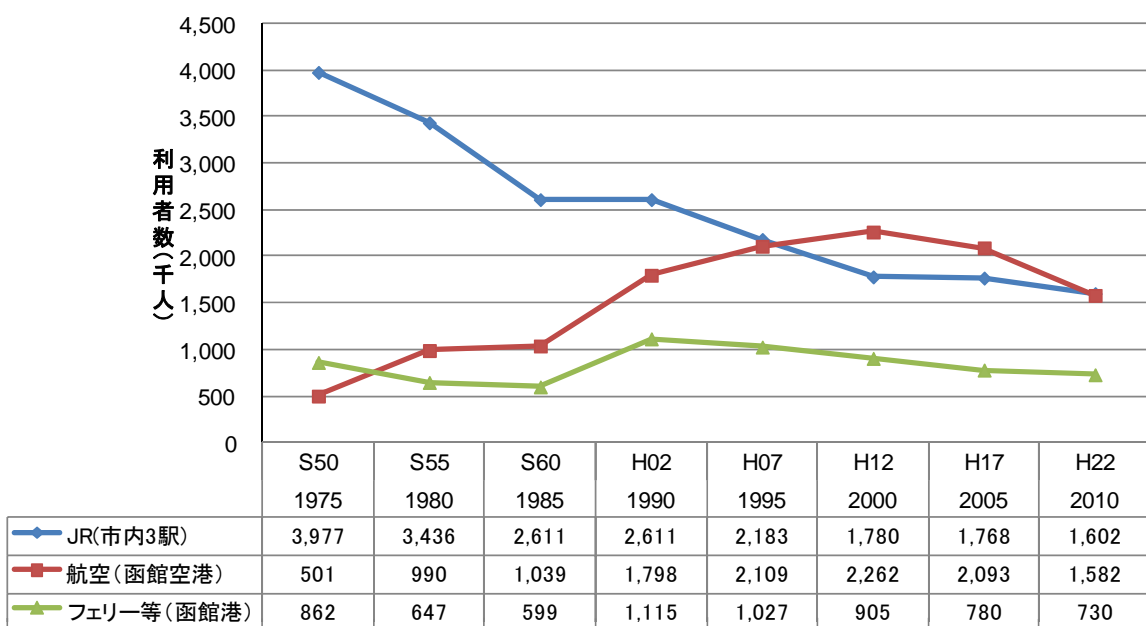


資料：函館市統計書・数字でみる北海道の輸送

エ 広域公共交通機関の利用者数の推移

■ 昭和 50 年以降は、航空のみ増加傾向であったが、平成 12 年以降は、全ての機関で利用者数が減少している。

交通機関別利用者数の推移



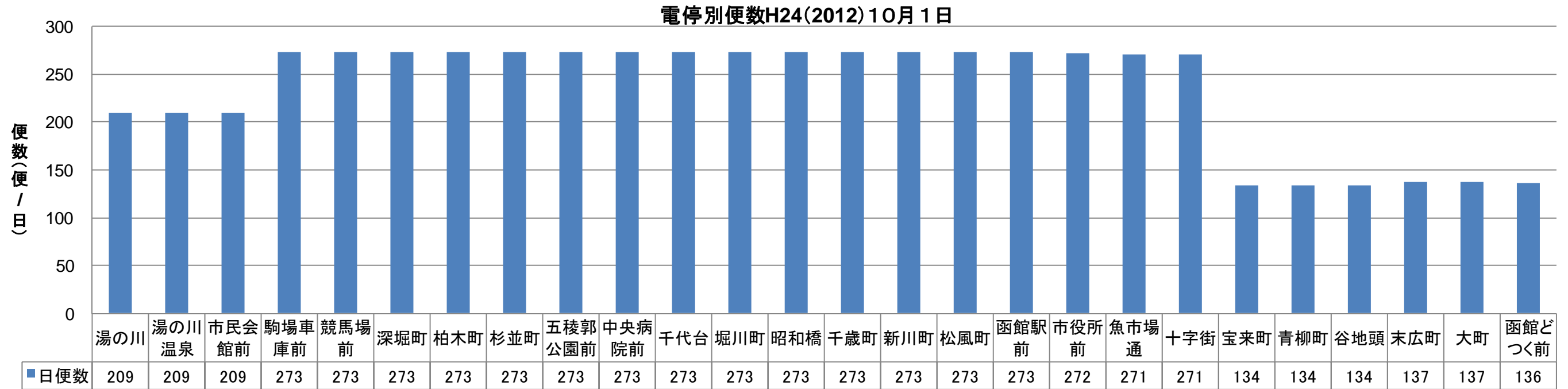
JR市内3駅(函館駅・五稜郭駅・桔梗駅)

資料：函館市統計書

(4) 電車路線の実態

ア 電停別便数

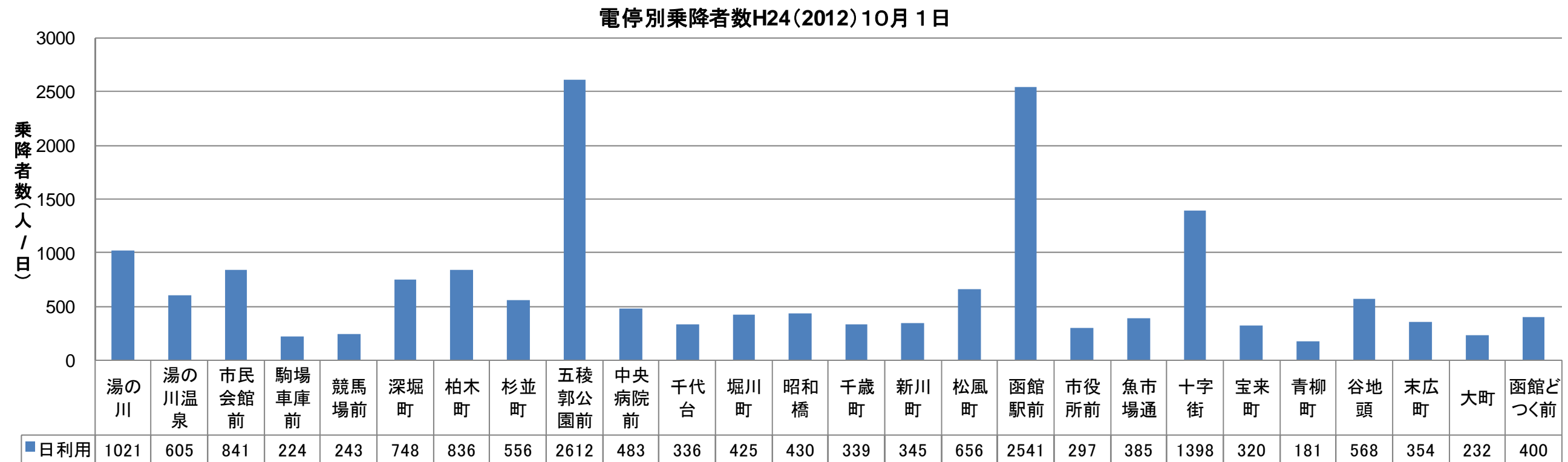
■ 駒場車庫前～十字街までの間で 250 便以上が運行している。十字街から西側の区間は分岐することもあり、半減している。



: 函館市企業局交通部提供

イ 電停別乗降客数

■ 五稜郭公園前と函館駅前では 2,500 人以上が乗降しており、湯の川と十字街でも 1,000 人を超えている。



※乗車電停データ等不明データは除いている
資料：函館市企業局交通部提供

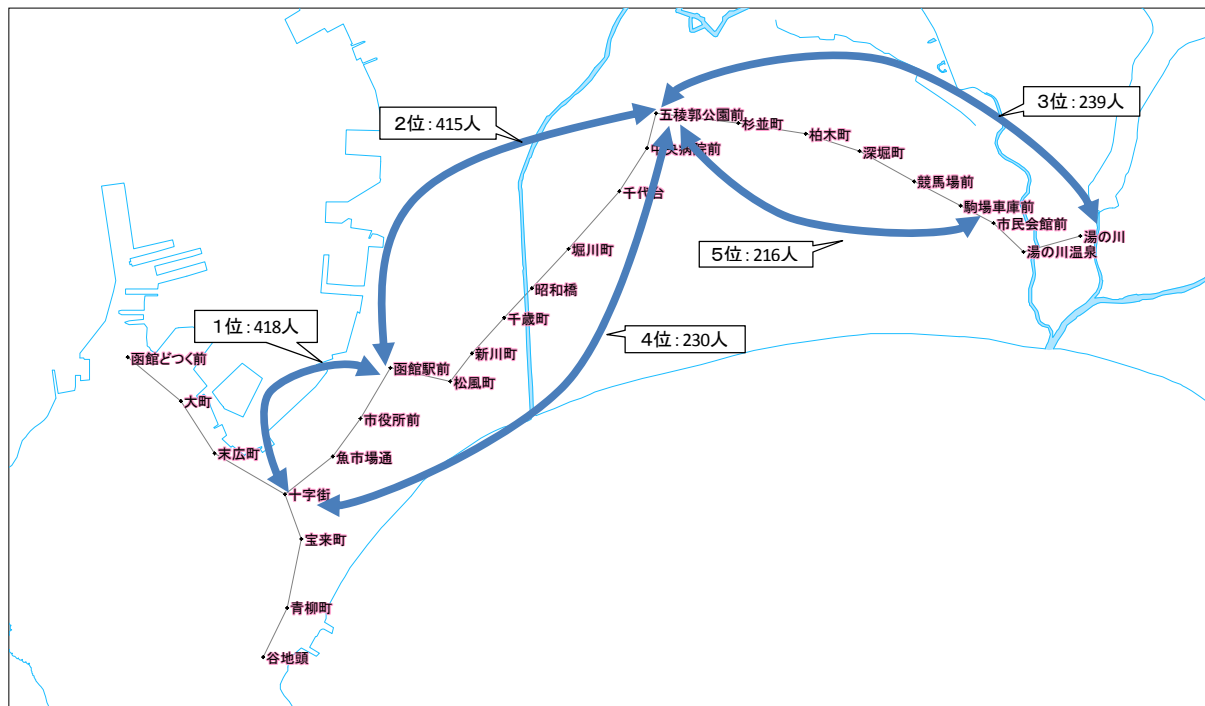
ウ 電停間利用者数

(ア) 電停間利用者数上位トップ10 (H24年10月1日集計値)

■ 利用者が最も多い電停間は函館駅前～十字街間、次いで五稜郭駅前～函館駅前間となっており、利用者が1日400人を超えている。

	電停A	電停B	利用者 (人/日)
1位	函館駅前	十字街	418
2位	五稜郭公園前	函館駅前	415
3位	湯の川	五稜郭公園前	239
4位	五稜郭公園前	十字街	230
5位	市民会館前	五稜郭公園前	216
6位	深堀町	五稜郭公園前	211
7位	湯の川温泉	五稜郭公園前	203
8位	函館駅前	末広町	176
9位	柏木町	五稜郭公園前	173
10位	函館駅前	谷地頭	163

※TOP5のみ図化



※乗車電停データ等不明データは除いている

資料：函館市企業局交通部提供

(イ) 電停間利用者数 (H24年10月1日集計値)

■ 五稜郭公園前電停を乗降地とする利用者が多い。

単位:人/日

降車電停 乗車電停	湯の川	湯の川温泉	市民会館前	駒場車庫前	競馬場前	深堀町	柏木町	杉並町	五稜郭公園前	中央病院前	千代台	堀川町	昭和橋	千歳町	新川町	松風町	函館駅前	市役所前	魚市場通	十字街	宝来町	青柳町	谷地頭	末広町	大町	函館どつく前	計
湯の川	0	8	38	4	6	30	32	31	124	23	12	10	16	16	14	21	56	7	12	24	4	2	9	2	3	7	511
湯の川温泉	4	0	1	2	6	13	17	10	92	9	6	3	5	6	2	8	37	4	2	25	3	2	5	4	1	2	269
市民会館前	40	7	0	0	7	46	28	26	94	15	10	14	11	8	8	18	21	3	9	22	3	1	3	7	0	3	404
駒場車庫前	8	3	1	0	0	6	18	8	19	9	3	2	6	1	12	4	11	2	2	3	0	0	2	1	2	4	127
競馬場前	11	4	3	3	0	1	5	10	26	7	2	6	5	4	9	4	15	3	2	8	0	0	1	2	0	2	133
深堀町	26	18	27	6	0	0	2	13	110	15	7	5	12	7	9	17	29	10	4	22	3	5	7	2	3	5	364
柏木町	32	15	55	15	3	3	0	4	77	10	11	13	10	5	20	24	64	9	11	15	1	4	4	4	7	7	423
杉並町	35	10	23	10	5	15	8	0	24	4	6	7	8	1	8	12	41	8	1	22	2	2	2	2	4	2	262
五稜郭公園前	115	111	122	22	26	101	96	28	0	1	19	36	37	28	25	58	187	14	38	107	29	13	33	19	10	25	1300
中央病院前	21	6	15	4	5	7	5	4	0	0	0	9	6	3	8	25	33	7	3	11	3	3	4	3	6	3	194
千代台	11	6	13	0	3	7	13	6	13	1	0	0	1	2	8	14	38	6	1	13	1	3	6	2	3	2	173
堀川町	9	8	12	4	5	5	16	11	27	12	2	0	0	5	9	24	31	3	7	8	2	0	7	7	1	5	220
昭和橋	21	6	16	2	2	12	9	8	41	9	2	1	0	0	4	7	23	6	5	26	3	5	10	3	2	4	227
千歳町	10	7	7	0	3	14	14	4	23	12	5	4	0	0	3	18	4	5	15	3	2	9	1	1	8	172	
新川町	6	1	9	4	3	8	8	8	22	9	3	12	4	1	0	1	3	5	3	9	1	1	8	6	6	3	144
松風町	23	9	13	2	8	15	28	17	83	29	13	14	15	9	1	0	6	0	8	18	4	3	8	4	2	9	341
函館駅前	62	64	29	6	15	36	48	50	228	58	24	24	27	23	23	4	0	4	39	198	63	21	62	84	38	70	1300
市役所前	4	7	5	3	2	1	10	6	22	5	4	1	5	3	6	3	1	0	1	32	3	1	9	4	8	5	151
魚市場通	9	7	6	1	1	6	7	3	39	6	7	9	1	2	1	8	46	0	0	5	0	0	14	4	3	6	191
十字街	26	25	19	5	2	33	17	21	123	22	6	12	7	15	9	25	220	13	7	0	5	9	34	9	19	15	698
宝来町	4	0	3	0	3	6	3	2	32	10	4	1	5	7	5	3	52	4	1	7	0	2	18	0	0	0	172
青柳町	5	2	0	0	0	2	1	2	10	4	2	2	7	6	3	2	33	3	1	10	2	0	2	0	0	0	99
谷地頭	9	3	5	1	2	5	7	6	32	6	4	7	7	4	5	11	101	16	16	46	13	3	1	0	0	310	
末広町	7	2	8	1	2	6	7	3	12	4	2	8	3	2	2	1	92	5	6	5	0	0	0	0	1	1	180
大町	3	2	2	0	1	3	6	7	20	4	6	0	2	2	3	4	21	5	5	15	0	0	0	0	0	1	112
函館どつく前	9	5	5	2	0	3	8	6	19	5	3	5	3	7	7	14	62	5	5	34	0	0	0	4	0	0	211
計	510	336	437	97	110	384	413	294	1312	289	163	205	203	167	201	315	1241	146	194	700	148	82	258	174	120	189	8688

※乗車電停データ等不明データは除く

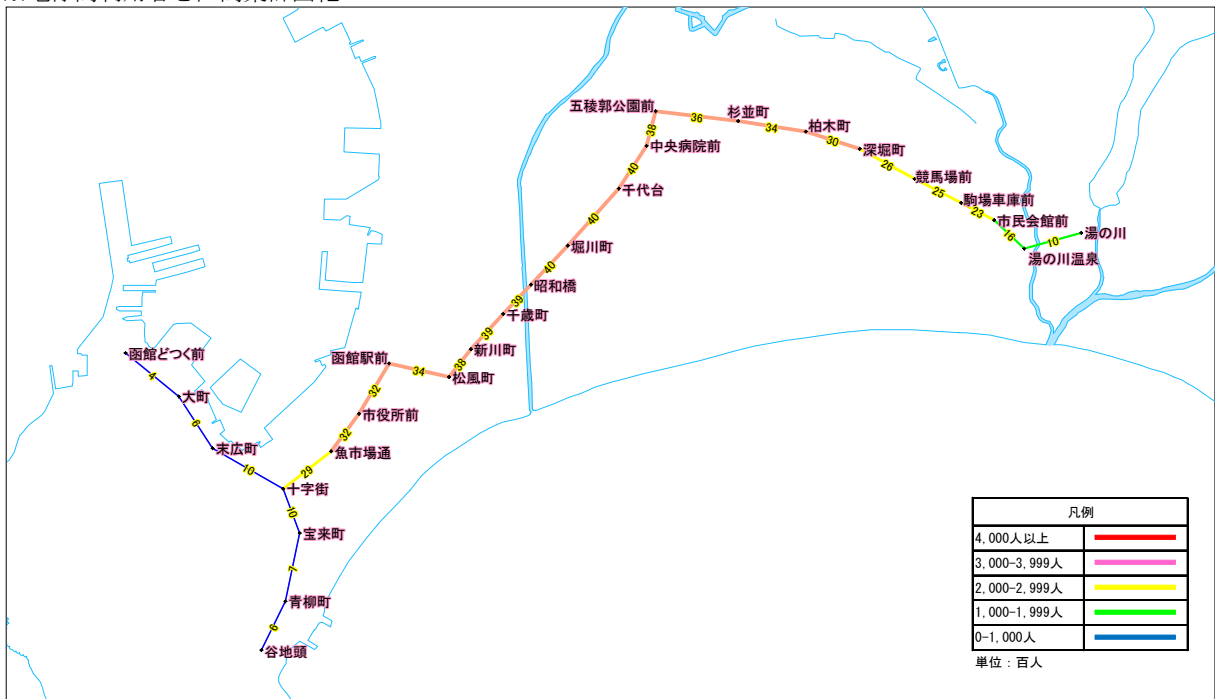
資料：函館市企業局交通部提供

(ウ) 電停区間利用者数順位 (H24年10月1日集計値)

■ 区間利用者では、乗降客の多い五稜郭公園前と函館駅前の間の区間での利用が多く1日3,000人を超えている。

順位	電停A	電停B	利用者 (人/日)
1位	堀川町	千代台	3,989
2位	昭和橋	堀川町	3,982
3位	千代台	中央病院前	3,951
4位	千歳町	昭和橋	3,920
5位	新川町	千歳町	3,881
6位	中央病院前	五稜郭公園前	3,788
7位	松風町	新川町	3,758
8位	五稜郭公園前	杉並町	3,550
9位	杉並町	柏木町	3,410
10位	函館駅前	松風町	3,376
11位	市役所前	函館駅前	3,249
12位	魚市場通	市役所前	3,180
13位	柏木町	深堀町	3,024
14位	十字街	魚市場通	2,941
15位	深堀町	競馬場前	2,622
16位	競馬場前	駒場車庫前	2,459
17位	駒場車庫前	市民会館前	2,271
18位	市民会館前	湯の川温泉	1,602
19位	湯の川温泉	湯の川	1,021
20位	宝来町	十字街	987
21位	末広町	十字街	972
22位	青柳町	宝来町	737
23位	大町	末広町	630
24位	谷地頭	青柳町	566
25位	函館どつく前	大町	400

※電停間利用者を区間集計図化



※乗車電停データ等不明データは除く
資料：函館市企業局交通部提供

(5) バス輸送・営業実績の推移

ア 営業キロ・車両数等 営業実績の推移

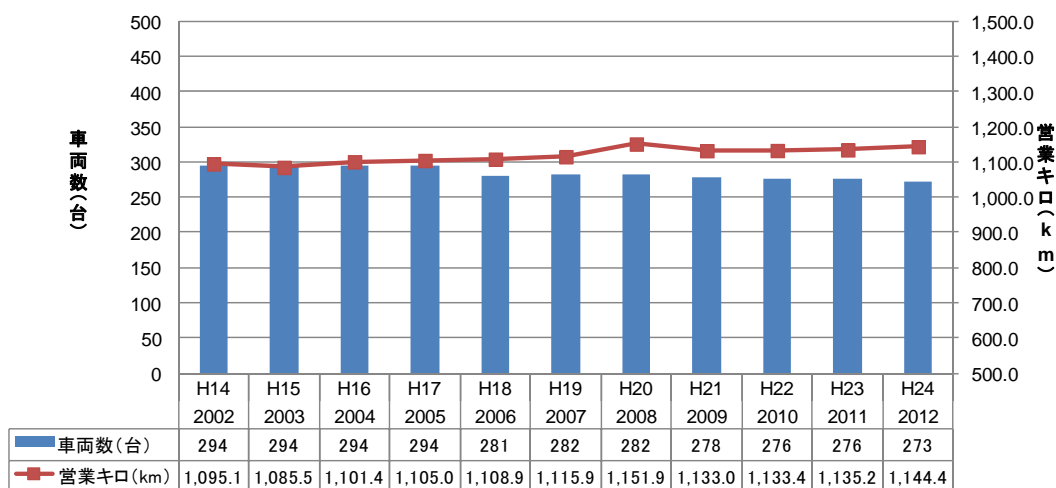
■ 函館バス営業全区間での車両数は、平成17年以降減少しているが、営業キロについては年々増加している。

	2002 H14	2003 H15	2004 H16	2005 H17	2006 H18	2007 H19	2008 H20	2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24
営業キロ(km)	1,095.1	1,085.5	1,101.4	1,105.0	1,108.9	1,115.9	1,151.9	1,133.0	1,133.4	1,135.2	1,144.4
車両数(台)	294	294	294	294	281	282	282	278	276	276	273
走行キロ(km)	12,332,640	12,487,951	12,511,003	12,727,804	12,503,182	12,729,043	12,752,573	12,351,752	12,044,728	12,103,935	11,882,715
乗合	11,139,973	11,283,125	11,274,007	11,455,464	11,560,314	11,597,013	11,524,984	11,177,990	10,859,999	10,759,719	10,603,664
貸切	1,192,667	1,204,826	1,236,996	1,272,340	942,868	1,132,030	1,227,589	1,173,762	1,184,729	1,344,216	1,279,051
乗車人員(人)	11,101,209	10,565,496	10,005,132	9,901,591	9,568,927	9,574,239	9,413,941	9,047,903	8,929,407	8,857,640	8,927,260
乗合	10,746,129	10,172,388	9,620,075	9,519,387	9,188,383	9,117,371	8,922,607	8,575,409	8,457,853	8,348,050	8,460,417
貸切	355,080	393,108	385,057	382,204	380,544	456,868	491,334	472,494	471,554	509,590	466,843

※データは函館バス営業全区間（函館市以外含む）

資料：函館バス(株)提供

函館バス(株)営業実績の推移(函館バス営業全区間)

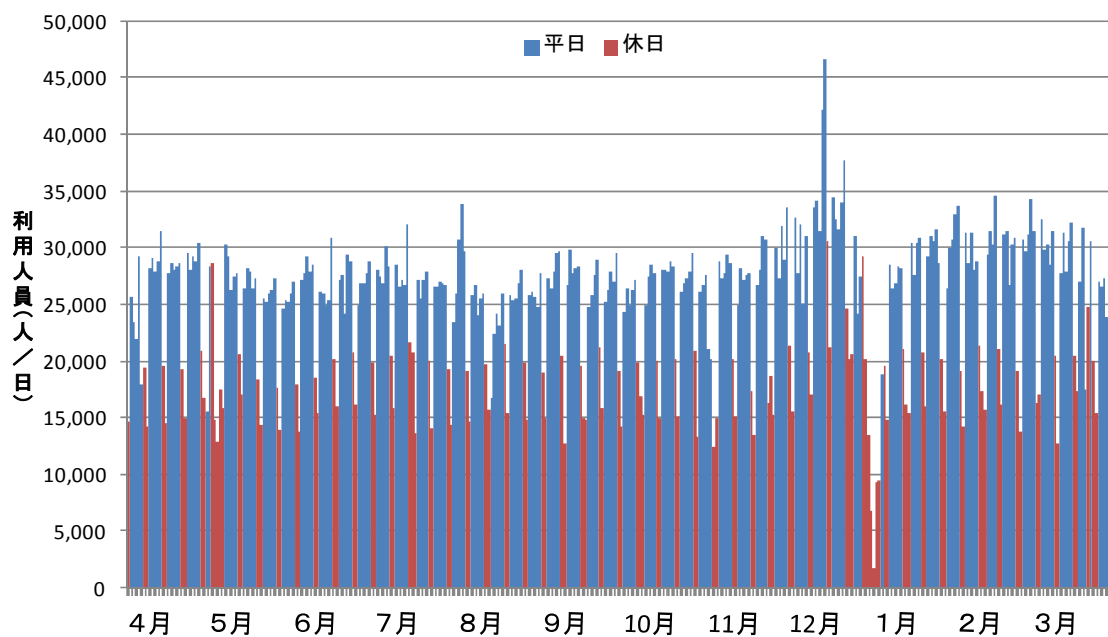


※データは函館バス営業全区間（函館市以外含む）

資料：函館バス(株)提供

イ 利用人員の日変動（H24 年度集計値）

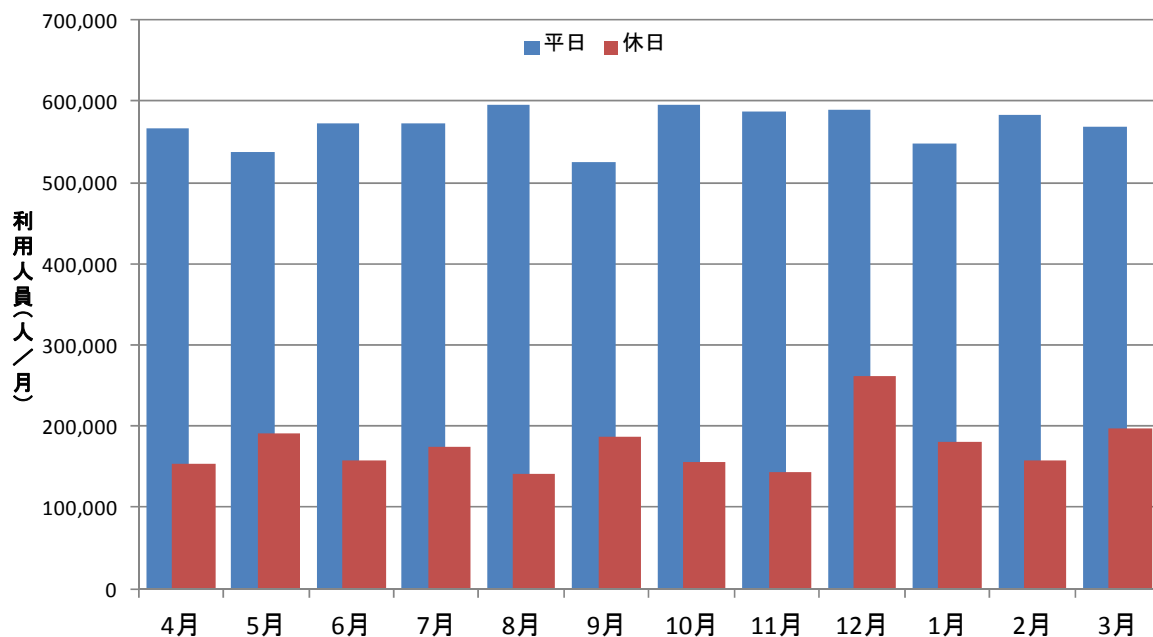
■ 日別の変動では、休日に利用者がほぼ半減している。



※データは函館バス営業全区間（函館市以外含む）
資料：函館バス(株)提供

ウ 利用人員の月変動（H24 年度集計値）

■ 月別の集計では、8月の平日の利用が多くなっている。



※データは函館バス営業全区間（函館市以外含む）
資料：函館バス(株)提供